

目次

1. 岩城 あすか委員	
『（公財）箕面市国際交流協会の可能性』	・ ・ ・ ・ ・ P12
2. 米田 信子委員	
『大阪大学外国語学部が目指すもの』	・ ・ ・ ・ ・ P59
3. 安田 優美香委員	
『語劇祭で知る世界』	・ ・ ・ ・ ・ P63
4. 阿部 一郎委員	
『創造都市・MINOHを目指して』	・ ・ ・ ・ ・ P80
5. 須貝 昭子委員	
『まちづくりは人づくり～自分のまちを「住みつづけたいまち」へ～』	・ ・ ・ ・ ・ P94
6. 小林 利彰委員	
『箕面船場はきっとおもしろいまちになる』	・ ・ ・ ・ ・ P123
7. 村井 淳委員	
『船場西地区連合自治会のご紹介』	・ ・ ・ ・ ・ P159
8. 山口 裕委員	
『大阪船場繊維卸商団地協同組合について』	・ ・ ・ ・ ・ P191
9. プリティ 梨佐クリスティーン委員	
『インクルーシブな社会を目指す』	・ ・ ・ ・ ・ P205
10. 吉岡 邑玲委員	
『音楽の力と箕面船場における活性化の可能性』	・ ・ ・ ・ ・ P220
11. 森 七恵委員	
『公益財団法人箕面市メイプル文化財団についてー地域に密着した事業展開と地域に親しまれる施設づくりー』	・ ・ P253

箕面船場における文化芸術国際交流のまちづくり ワークショップ

創造都市・MINOHをめざして

(一財) 自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー
阿 部 一 郎
(箕面市ハット市友好クラブ会長・金沢大学教員)

▶ ミッション (Mission)

…将来的にめざすもの

▶ ゴール (Goal)

…実現可能な目標

▶ オブジェクティブ (Objective)

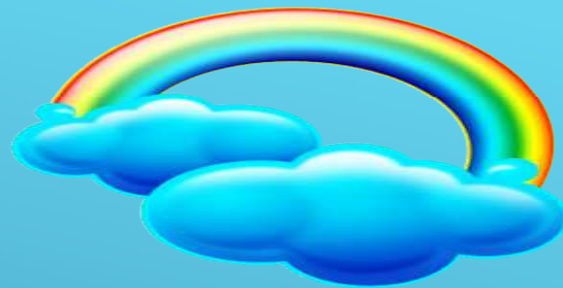
…ゴールを達成するための手段

PTCAサイクル

- ▶ 「Plan-計画する」
- ▶ 「Try-やってみる」
- ▶ 「Check-評価・検証する」
- ▶ 「Action-評価を踏まえて、行動する」

多様性とは…

私たち一人ひとは、
その価値において等しく尊いという
人権概念を核にして、
さらに私たち一人ひとは
違うから尊い



創造都市とは...

市民の創造活動の自由な発揮に基づいて、文化と産業における創造性に富み、同時に、脱大量生産の革新的で柔軟な都市経済システムを備え、グローバルな環境問題や、あるいはローカルな地域社会の課題に対して、創造的問題解決を行えるような「創造の場」に富んだ都市である。

そして「創造性」とは...

- ・ 空想や想像より実践的で、「知識（インテリジェンス）」と「革新（イノベーション）」の間にあるもの
- ・ 「芸術文化」と「産業経済」を繋ぐ媒介項

「空間経済学」と「都市文化経済学」

「空間経済学」は、都市を企業活動の展開の場と捉えて、企業立地や集積の要因を分析し、資本と労働力の流動性に基づく都市システムの編成を解明する。

「都市文化経済学」は、都市を生活と経済の容器であるとともに、人間の創造活動の舞台であると捉える。

ルイス・マンフォードの都市論

「都市は芸術を育てるとともに芸術であり、都市は劇場をつくるとともに、劇場である。」

「世界都市」から「創造都市」へ

グローバリゼーションと知識情報経済化が生み出す新しい都市類型

「世界都市」とは、金融・経済・文化の中核的機能を独占し、グローバル経済の頂点に位置する都市であり、その内部には富と貧困の極端な格差を抱え、文明の衝突の焦点に立つ都市である。

「創造都市」とは、市民の創造活動の自由な発揮に基づいて、文化と産業における創造性に富み、同時に、脱大量生産の革新的で柔軟な都市経済システムを備え、グローバルな環境問題や、あるいはローカルな地域社会の課題に対して、創造的問題解決を行えるような『創造の場』に富んだ都市である。

創造都市をつくる3つのポイント

①創造性あふれる都市づくり

- ・個人、組織、都市、それぞれの創造性を重視する
- ・クリエイターと企業や市民を結びつけるコーディネーターとネットワークの存在

創造都市をつくる3つの ポイント

②イノベーションとインプロビゼーション を引き起こす

- ・固有の生活文化と技能の再創造
- ・グローバル文化やハイテクとの出会いや
融合による新しい産業の創造

創造都市をつくる3つの ポイント

③創造支援インフラを多様に整備し、多彩な産業と文化の「創造の場」をつくる

- ・伝統的街並み空間や近代産業遺産を保存し、再生利用することによって、地域固有の環境が生み出される



Comment

住んでいる人々自身が最大の地域
資源であり、その創造性を引き出して、
新たな住民を“社会排除”から“社会
参加・参画”へと変化させていく

コメント

- 今回のまちづくりに「唯一性」を有することの大切さに気付きました。同時に、金沢市から学べることも多いと思います。近隣では、豊中市は「文化芸能振興基金（平成30年（2018年）1月に設置。文化芸能のもつ力を活かして、
 - ・文化芸能活動に係る環境の充実
 - ・豊中市の文化芸能活動をリードする事業
 - ・地域課題の解決（社会的包摂）や地域活性化に寄与する取組み
 - ・文化芸能活動に係る環境の充実といった取組みを進め、市民文化の創造につなげることをめざします）」といった取り組みもあり参考になりそうである。
- 箕面市には「安全都市宣言」「非核平和都市宣言」「青少年健全育成都市宣言」「箕面市人権宣言」の4つの宣言があるが「文化芸能都市宣言」を志向するのはどうか。また市の施設として「子ども美術館」「現代アート美術館」等を、例えば大阪大学外国語学部跡地にある未使用施設を使用して作るのはどうか？
- 箕面市を創造都市とするために「地域の大学」である大阪大学（特に箕面キャンパス）がどのようにかかわっていけるのか、あるいはどのように貢献できるのか、ということについて具体的に考えていきたい。
- 阿部委員も言われていた様に、現時点で目指すもの「ミッション」や「ゴール」が明確になっていないと言うのは当方も一緒。最終的な「ミッション」は箕面市が言われている『箕面市が文化芸能国際交流都市になる』という事かも知れないが、そのためにこの『箕面船場』と言うエリア（船場生涯学習センターや文化芸能劇場など）をいかに活用し何が出来るのか、何をしていくのかを模索する必要がある。ここでもなかなか難しいのは、『団地組合』はこのエリアに事業拠点がある組合員企業の集団であり、住民とは若干立ち位置が違うのでどの様に関与していくか。
- 阿部委員は以下のようにコメントされています。すなわち「住んでいる人々自身が最大の地域資源であり、その創造性を引き出して、新たな住民を”社会排除”から”社会参加・参画”へと変化させていく」と。自治会活動もまさに役員・会員による”社会参加”活動そのものであり、会員共助の精神に基づき環境整備、防犯、防災福祉向上等に関する諸行事を実施し、地域社会の向上に資することを目的としているわけです。そこに会員による”創造性”が新たに加わることによって、地域社会の更なる飛躍を期したいと思います。

コメント

- プレゼンテーションの中心になっている創造都市の構想は、まちのコンセプトを基本に、まちづくりのためのさまざまな連携を深めながら、あらゆる市民を巻き込んでいくカタチを紹介し、船場の地域住民が中心となって活動する協議会の様子へと、3者の発表で繋がる結果になりました。阿部さんの提唱する創造都市へのプロセスを楽しみながら実現していくための仕掛けがあれば素晴らしいことだと思います。「人が資源である」ことを大切にしながら、新たなまちのストーリーとして、アートや食というテーマをキャッチフレーズに展開するような居場所づくり・交流の場づくりを目標に、イベント等の企画を市民にしかけていくことが次のステップに繋がると感じました。
- P T C Aサイクルの実践に向けて、どのような団体が存在しているのか情報を集めていきたい。金沢市の例についてもう少し詳しく調べて、これからを考える土台にしたいと思いました。
- 芸術や文化が、あらゆる人々のエンパワーメントに貢献していることは間違いありません。教育、医療、福祉の分野と結びつくだけでなく、産業とも相互に影響しあうようになれば本当に理想的だと思います。今できることといえば、私たち財団職員がアートやテクノロジーに高い感度を持ち、上質なものを市民の皆さんに継続して提案できるようにスキルの向上に励むことだと思います。
- 行政、地域団体、N P O、企業、企業組合や第3セクター等による「船場デザイン会議」を立ち上げてはどうか？
- 今回阿部委員にご指導いただいた意味での文字通りの「創造都市」を、箕面市がこれから目指すべきであるかについては、少々疑問が残っています（そもそもの歴史的背景などを考慮すると難しいところもありそうです）。もっとも、「創造性溢れる都市」により近づくために注力するといった意味では、例えば金沢市の取り組みは大変参考になると思いました。
- 金沢市の21世紀美術館のような、観光との観点からも全国規模での話題を生み、街全体に大きな刺激を与えるような施設が新たにできる意味は大きいと思いました。箕面市においても、そのような話題性のある施設が生まれたら、より大きなステップを期待できるかもしれません。
- 市内には創造的な活動をしている団体や、グループがあるので、テーマを決めて連携して継続的な活動ができる様にすれば、箕面市全体が創造都市になるので、そのような働き掛けが出来ればと思う。自治体国際化協会と船場まちづくり協議会が連携できるテーマも検討したい。このワークショップを通して色々な方が街のために活動されています。強みを生かして一致団結すれば住民の笑顔が一人でも多く見られると思います。私は子どもという観点にはなりますが、できることは協力させていただきたいと思います。

目次

1. 岩城 あすか委員	
『(公財)箕面市国際交流協会の可能性』	P12
2. 米田 信子委員	
『大阪大学外国語学部が目指すもの』	P59
3. 安田 優美香委員	
『語劇祭で知る世界』	P63
4. 阿部 一郎委員	
『創造都市・MINOHを目指して』	P80
5. 須貝 昭子委員	
『まちづくりは人づくり～自分のまちを「住みつづけたいまち」へ～』	P94
6. 小林 利彰委員	
『箕面船場はきっとおもしろいまちになる』	P123
7. 村井 淳委員	
『船場西地区連合自治会のご紹介』	P159
8. 山口 裕委員	
『大阪船場繊維卸商団地協同組合について』	P191
9. プリティ 梨佐クリスティーン委員	
『インクルーシブな社会を目指す』	P205
10. 吉岡 邑玲委員	
『音楽の力と箕面船場における活性化の可能性』	P220
11. 森 七恵委員	
『公益財団法人箕面市メイプル文化財団についてー地域に密着した事業展開と地域に親しまれる施設づくりー』	P253

まちづくりはひとづくり

～自分のまちを住み続けたいまちへ～

特定非営利活動法人 市民活動フオーラムのお

須貝 昭子

1. (特活) 市民活動フオーラムのおが取組んできたこと

● 箕面市のNPOの状況

- ・箕面市NPO条例登録団体…約120団体
- ・箕面市内のみに事務所を置くNPO法人…55法人(令和3年9月現在)
- ・「みのお市民活動グループガイド2021」…(社福)箕面市社会福祉協議会・ボランティアグループ連絡会

掲載団体 189 団体

● 行政との協働の推進

- ・夢の実支援金制度…原資 250 万円 ※2 年前には学生コースを新設したが応募なし

● NPO 活動支援

- ・北摂NPO-SB緊急補助金プロジェクト…北摂 6 市で寄付募集して 22 団体に各 10 万円を寄付

● 社会課題に取り組む持続可能な活動展開への団体支援

- ・講座や相談…各種スキルアップ講座、市民社会講座、法人設立相談、組織運営、会計相談等

● ネットワークの構築

- ・ちととネット会議：中間支援組織との連携

(公財)箕面市国際交流協会、(公財)箕面市マイグル文化財団、(社福)箕面市社会福祉協議会、NPO法人みのお山麓保全委員会、タッキー816みのおエム(株)

- ・シネモ上映会…社会的なテーマを選び映画を通して啓発

(公財)箕面市国際交流協会、(特活)暮らしづくりネットワーク北芝

- ・東日本大震災復興支援イベント…気仙沼・大島のまちづくり組織への募金活動、ボランティア相互支援プロジェクト国際中学校・高等学校、箕面ユネスコ協会

- ・熊本支援ネットワーク…箕面と熊本の被災地支援 NPO との連携支援

(特活)暮らしづくりネットワーク北芝、箕面ユネスコ協会、(特活)あつとすくーる

(公財)箕面市国際交流協会、(社福)箕面市社会福祉協議会、

部落開放同盟大阪府連合会北芝支部、箕面市教職員組合

- ・フズリャー多文化サロ(大阪大学外国語学部)

- ・防災教室…次世代につなぐ防災意識の啓発

大阪大学災害支援サークルすずらん、大阪ガス(株)地域コミュニケーション室、梅花女子大学栄養学科

- ・まんどろ火祭り(地域美化活動と運動した伝統文化の継承)

…かやの中央まち育て交流会、周辺地域の自治会や市民の皆さん、みのおキューズモール

●これまでに関わりのあった大阪大学関係のNPO

- ・(特活)インターナショナル:センターに事務所を構えビジュアルの普及活動を展開。
- ・SWITCH「わいわいみのお園」プロジェクト。地域住民とNPO、学生が協働してコミュニケーション農園を展開。
- ・養育共(ライト):小中学生の学習支援サークル センターを拠点に活動
- ・(特活)あっとすくーる:1人親家庭の学習支援活動。社会起業し、質面市の委託事業を実施
- ・タリバ:アフリカの打楽器とダンスのパフォーマンス
- ・トウライニ ニュンバーニ:ケニアのシングルマザーの自立支援。アウセサリーやバッグの販売協力等
- ・アケショ:東日本大震災時にボランティアサークルを立上げ支援活動を展開。
- ・災害支援サークルすずらん:東日本大震災以降、岩手県野田村に長期支援活動を展開。
- ・みどりのカーテン広げ隊:温暖化問題を課題にヨーロッパや朝鮮を軸にまちに緑を広げる活動を展開。
- ・環境サークル GECOS(ゲックス):川の美化活動、リサイクル活動等地域と連携した活動展開。

2. 取り組みを通じて課題と感ずること、必要と思われること(文化芸術、国際交流の分野)

●課題

- ・船場のまちづくりに関しては、周辺の関係団体の協力がなくては進まない。一方で、どんな人たちがいて、どんな活動をしているのか、まだまだ知らないことが多い。
- ・ネットワークの必要性を理解できても、それを効果的に活用することが少ないように感じる。
- ・イベントの関わり方も、参加者、利用者だけの関わり方から、ボランティアとしての協力者、機材提供や専門的な協力者など、必要に応じた呼びかけが出来ていない。

●必要と思われること

- ・これからのまちを考える市民や組織の相互理解が必要。
- ・音楽、アート、市民活動、国際交流の発信地として、体験共有できる場づくり
- ・日常からオープンで開放的な関係性や船場といえば・・・というイメージ、キャッチフレーズがほしい。

3. 船場地区に期待すること、具体的な事業やイベントの提案など

- ・ハード面だけの新しさでは「まちの魅力」は続かない。学生も市民も「自分たちのまち」として誇りを持ち、愛着を持てるまちであることが重要。そのために主体的に関わることが一番の早道と考える。
- ・企画から興味のある市民や団体が関われるような実行委員会形式にする。
- ・NPO 市民活動と文化芸術、国際交流の分野は、重なり合う部分が多い。市民を中心に、いろいろな価値観や文化、生活があり、お互いを認め合えるインクルーシブな社会を実現することは共通の目標。それに共感する市民や団体からの提案を募る。

4. 財源の確保方法

- ・実行委員会形式であれば参画団体からの負担金を募る
- ・まちづくり系のイベント助成金に申請する(行政、民間を問わず)
- ・寄付募集(クラウドファンディング)
- ・資金調達のためのイベント企画を開催する



まちづくりは人づくり

～自分のまちを「住みつづけたいまち」へ～

(特活)市民活動フォーラムみのお
理事長 須貝昭子

* 自己紹介

企業や行政・NPO・大学・市民をつなぐ役割を担い、必要な時にしっかりとつながるネットワークを広げながら、地域の課題解決に向け活動を展開している。

学生時代のボランティア活動からPTA、子ども会を経て、子育て支援団体の事務局長として10年間の活動経験をもつ。NPOの関係団体との関わりとして、現在は（公財）箕面市メイプル文化財団の理事、（社福）箕面市社会福祉協議会評議員、民生推薦委員等、行政やNPO諸団体に参画・連携して、NPO啓発や箕面市のまちづくりの向上に側面から関わっている。

ここ数年は東日本大震災復興支援や全国の災害支援に、箕面市や周辺地域の仲間と共に毎年数回ボランティア活動として被災地に赴いている。

★学生時代のボランティア活動が縁で箕面市と関わる
1975年「第2回地中海青年の船」に応募参加

未来宣言

「市民が支えあう社会」を「市民のチカラ」で!

自立

社会課題の解決に取り組む
NPOのチカラを強化します

豊かな地域社会を実現するために、
3つの柱を方針に立てて活動しています。
この柱は、「市民のチカラ」の元になる要素です。

理想の社会に向かって、
今後も3つの柱に沿った支援を
行っています。

連携

NPO・企業・行政をはじめ、
まちのさまざまな組織間の
連携を深めます

担い手

市民活動の担い手を
増やします

私たちは、これからも
多様で豊かな地域社会の実現に向けて、
活動する市民を支援します。



* 箕面のNPOの状況(ミニ情報)

- 箕面市NPO条例登録団体…約120団体
- 箕面市内のみに事務所を置くNPO法人
55法人(令和3年9月現在)
- 「みのお市民活動グループガイド・2020」
箕面市社協・ボランティアグループ連絡会と協働
掲載団体 189団体



ナレホド!!

* 活動サポート

● 行政との協働の推進

- ・ 夢の実支援金制度… 原資250万円
- ・ 2年前には学生コースを新設したが応募なし



● 資金循環

- ・ 北摂NPO・SB緊急補助金プロジェクト
… 北摂6市で寄付募集して22団体に各10万円を寄付

● 社会課題に取り組む持続可能な活動展開への支援

- ・ 各種スキルアップ講座、市民社会講座
- ・ 法人設立相談、組織運営、会計相談等

市民活動を立ち上げたい！

という想いを応援します

夢の実支援金募集説明会 4/20



- 立上げ応援！コース
- 学生・若者応援！コース
- 発展応援！コース
- 自治会活動応援コース



※写真は2017年度交付事業です

「夢の実支援金」(みのお市民活動支援金)

は、地域課題に取り組む市民の活動を応援します。市民活動団体、NPO、自治会、地域団体、学生団体などの非営利団体が実施する公益的活動を対象に支援します。

募集説明会：4月20日(土) 15:45～16:30

みのお市民活動センターにて

募集期間：2019年5月13日～6月3日

※事業の立ち上げ相談も、市民活動センターで行っています。あらかじめ下記までご連絡ください。

過去の交付団体からの声(永田和子さん (特活) ダウン症ファミリー総合支援めばえ21代表)

4年間、みのお市民活動センター様の夢の実支援金の交付を頂いて団体の活動を行いながら、市民活動フォーラムのお様には団体のNPO法人化そしてデイサービス開設へのステップを進めて行く中で、専門家の先生の助言をお世話頂く等いろいろご支援を頂きました。めばえ21を育てていただきありがとうございます。



2018年度交付事業

(立上げ応援！コースと発展応援！コースの一部)

・バリアフリーコンサート事業

・子ども食堂の開催

・福祉会ふれあい農園事業

第2回くまの植樹>事業

・くまの歌つてきょうも元気！自主番組制作>事業

・PTA応援団

・公園団地集会所を「みんなの遊びあごころ」に！！

・90歳になっても元気に過ごせるくまのカラダ作り>事業

■2018年度夢の実支援金実施報告会■

今後の申請を考えている方もぜひご参加ください

4月20日(土) 13:00～15:30 @みのお市民活動センター

事務局・お問合せ

みのお市民活動センター (指定管理者：(特活) 市民活動フォーラムみのお)

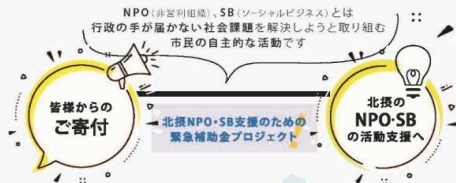
箕面市坊島 4-5-20 みのおキューズモール WEST1-2F

TEL：072-720-3386 FAX：072-720-3387 E-mail：minoh@shimink.jp

北摂の実は!

NPOもコロナでピンチなんです

コロナ禍の影響は、営利事業に取り組む事業者だけでなく、社会的な事業に取り組むNPOにも及んでいます。支援を必要とする人がいる限り、事業を止めるわけにはいきませんが、経営難に陥っている団体も少なくありません。北摂地域のNPO・ソーシャルビジネスを応援することで、より豊かな社会を一緒に作りませんか？



北摂NPO・SB支援のための緊急補助金プロジェクトとは？

2020年6月に、NPO支援に取り組む北摂の6団体で発足！

北摂では、6つの自治体で“公設民営”の市民活動支援センターが設置されています。本プロジェクトは、各センターを運営する団体で構成されています。

【構成団体】池田市公益活動促進協議会、特定非営利活動法人いばらき市民活動推進ネット、特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお、NPO法人市民ネットずいた、高槻市市民公益活動サポートセンター管理運営委員会、特定非営利活動法人とよかESDネットワーク【協力】NPO法人Gift

支援内容 皆さんからいただいた寄付金を原資とし、一律10万円の補助金を交付します。また、各市民活動支援センターと連携しながら、半年間の運営サポートにも取り組めます。【対象団体】北摂地域で「①高齢者・介護」もしくは「②子ども・貧困」、いずれかの分野で活動する団体もしくは事業者。

▼ 2020年9月に第一弾として8団体へ補助金を交付しました！ ▼

facebookページで活動の様子などもお伝えしています！



* ネットワークの構築

もっとネット会議…中間支援組織との連携

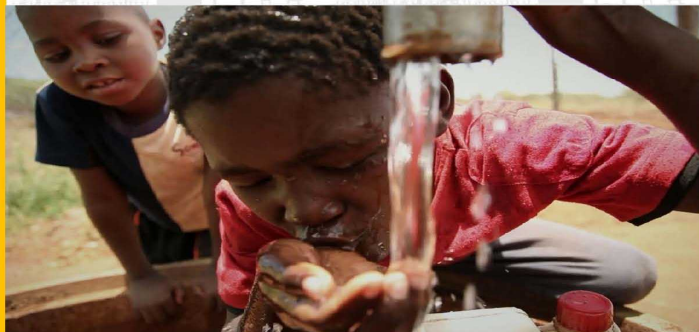
(公財)箕面市国際交流協会
(公財)箕面市メイプル文化財団
(社福)箕面市社会福祉協議会
NPO法人みのお山麓保全委員会
タッキー816みのおエフエム(株)
(特活)市民活動フォーラムみのお

「シネモ」上映会…社会的なテーマを選び映画を通して啓発

(公財)箕面市国際交流協会
(特活)暮らしづくりネットワーク北芝
(特活)市民活動フォーラムみのお

みのおcinemo上映会2021@みのお市民活動センター

寄付の行方を知っていますか？



ポバティ・インク
あなたの寄付の不都合な真実

POVERTY, INC.

「貧しい気の毒な人たちのために手を差し伸べよう」「彼らは無力で何もできない」
そんなイメージを刷り、繰り広げられてきた営利目的の途上国開発は、今や数十億ドルに及ぶ巨大産業
となっている。その多くの援助活動が失敗に終わり、援助の受け手がもともと持っている能力やパワー
も損ないさえる。
私たちの「支援」がもたらす問題は？正しい支援のあり方とは？途上国とどう向き合うべきなのか？ハ
イチやアフリカを主な舞台に、「支援される側」の人たちの生の声を伝えるドキュメンタリー。

日 程：9月4日（土）18:30～20:30
会 場：みのお市民活動センター
またはオンライン
定 員：10名（8月1日から申込先着順）
内 容：映画上映と感想共有。
参加費：700円 学生、市民活動フォー
ラムみのおの会員は無料。



主催・申込み先 （特活）市民活動フォーラムみのお（みのお市民活動センター指定管理者）
箕面市坊島4-5-20 みのおキューズモールWEST1 ー2F みのお市民活動センター内
TEL & FAX 072-722-2666 E-mail forum@minoh-npo.com

★みのおcinemo上映会は、多文化交流センター（箕面市国際交流協会）、らいとびあ21（暮らしづくりネットワーク北
芝）との共同事業として行っています。是非、両団体で実施される上映会もチェックしてみてください。

みのおcinemo上映会2021@みのお市民活動センター

ELEMENTAL

エレメンタル

3つの物語、3つの大陸、
目的はひとつ、社会変革



『エレメンタル』は私たちが生きている時代で最も過酷な環境課題に
対峙し解決のために奮闘する、「水のガンジー」「ウォーターマン」
と讃えられる著名な活動家のラジェンドラ・シンなど自然と強い絆を
持つ3人の活動を追ったドキュメンタリーである。

日 程：11月6日（土）18:30～20:30
会 場：みのお市民活動センター
※感染症拡大防止のため変更になる場合があります。
定 員：12名（申込先着順）
内 容：映画上映と感想共有。
参加費：700円 学生、市民活動フォー
ラムみのおの会員は無料。



主催・申込み先 （特活）市民活動フォーラムみのお（みのお市民活動センター指定管理者）
箕面市坊島4-5-20 みのおキューズモールWEST1 ー2F みのお市民活動センター内
TEL & FAX 072-722-2666 E-mail forum@minoh-npo.com

★みのおcinemo上映会は、箕面市国際交流協会（多文化交流センター）、暮らしづくりネットワーク北芝（らいとびあ
21）との共同事業として行っています。是非、両団体で実施される上映会もチェックしてみてください。

* 災害復興支援、大学・企業との連携

東日本大震災復興支援イベント～3.11を忘れない～

- ・・・宮城県気仙沼・大島のまちづくり組織への募金活動
アサンプション国際中学校・高等学校
箕面ユネスコ協会

熊本支援ネットワーク

- ・・・箕面と熊本の被災地支援NPOとの連携支援
(特活)暮らしづくりネットワーク北芝
箕面ユネスコ協会、(特活)あっとすくーる
(公財)箕面市国際交流協会、
(社福)箕面市社会福祉協議会 等



3.11 を忘れない

～支えあうこと つながること 学ぶこと～

2021.3.14 (日) 11:00 ～ 16:00 かやのさんべい橋

※新型コロナウイルス感染拡大状況により中止になる場合がございます。

12:00
13:00

ビデオ上映



ビデオコンサート
アサンブション国際中学校高等学校聖歌隊



ビデオメッセージ
10年をふりかえって



ヤマモト
小松武さん



ヤマモト
菅原昭彦さん



アサンブション国際
中学校高等学校
金智照先生



アサンブション国際
中学校高等学校
坂口一美さん



山崎 小野寺商店
小野寺由美子さん



11:00
売り切れ
次第終了

事業で学ぶ
防災教室



内容はチラシ裏面をご覧ください



募金活動
12:00
13:00

寄付先 宮城県気仙沼大島架橋促進協議会

パネル展
3/7 (日) ～ 14 (日)
みのお市民活動センター



出展 団体

アサンブション国際小学校・中学校高等学校 箕面ユネスコ協会 大阪ガス株式会社 梅花女子大学 わせねでね・気仙沼手芸コミュニティ ツナガリーナ 大阪大学災害ボランティアサークルすずらん 手をつなごうコンサート実行委員会 (社) 箕面市社会福祉協議会 (特活) 市民活動フォーラムみのお

協力

みのおキーズモール

主催・問合せ

特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお TEL/FAX : 072-722-2666
箕面市功島 4-5-20 みのおキーズモール WEST 1-2F E-mail : forum@ninoh-rpa.com

*コロナ禍の中でもできる被災地支援のカタチ

- 被災地へボランティアに入ることが難しい状況下でもできること。



★募金や物品での支援



熊本おうえんネットワーク 大阪・箕面

2021年8月豪雨
被災地活動団体にとけます

現地連携団体 ——
●特定非営利活動法人 YNF(福岡)
YNF <http://saigalynf.org>

し えん きん
支 援 金

きょうりょく
ご協力のおねがい

らいとびあ 21
萱野老人いこいの家
510dell・B-MART
みのお市民活動センター
箕面市立 多文化交流センター

支援金箱を
おいています。



熊本おうえんネットワーク
大阪・箕面

熊本おうえんネットワーク 大阪・箕面
箕面ユネスコ協会・(特活)市民活動フォーラムのお
(福岡)箕面市社会福祉協議会・(特活)あっとくくる
(特活)暮らしづくりネットワーク北芝
部落解放同盟大阪府連合会北芝支部・一般社団法人 YDP
(公財)箕面市国際交流協会・箕面市振興委員会
<https://www.facebook.com/minoh.to.kumamoto>



お問い合わせ 暮らしづくりネットワーク北芝 072-720-6630

* 災害復興支援、大学・企業との連携

防災教室・・・次世代につなぐ防災意識の啓発

大阪大学災害支援サークルすずらん

大阪ガス(株)地域コミュニティ室

梅花女子大学管理栄養学科

まんどろ火祭り：地域美化活動と連動した伝統文化の継承

かやの中央まち育て交流会

みのおキューズモール

周辺地域の自治会、市民の皆さん

マンスリー多文化サロン・・・外国語学部とのコラボ事業

大阪大学外国語学部×みのお市民活動センター

家族で学ぶ 防災教室

こたえて防災（防災クイズ）



（大阪大学災害ボランティアサークルすずらん）

A

知っていると便利技

防災の万能アイテム
「ポリ袋」「ふろしき」の
いろいろな使い方を知ろう！



（特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお）

防災食も主食・主菜・副菜をそろえよう！ もしもの時の防災ごはん



食育・食生活ガイド

- ◇ 紙芝居＆クイズ
- ◇ 簡単レシピ紹介

（梅花女子大学 管理栄養学科）

たのしい

役にたつ

- A（約 15 分） ① 11:15 ～ ② 13:45 ～ ③ 15:00 ～
B（約 10 分） ① 11:35 ～ ② 14:05 ～ ③ 15:20 ～
C（約 10 分） ① 11:50 ～ ② 14:20 ～ ③ 15:35 ～

つくって防災

いざという時に
身近なものでつくる
防災アイデアグッズ



（大阪大学災害ボランティアサークルすずらん）

考える防災教室 by 大阪ガス



その時、あなたを守る、
あなたになる。

SAVE YOURSELF

災害後の困難な状況を生き抜く、
知恵と後を学ぼう！



- ◇ 災害時の防衛対策
- ◇ 命を守る対策（家具転倒防止策）
- ◇ マイコンメーター復旧操作体験
- ◇ 大阪ガスの地震対策

（大阪ガス株式会社）

スタンプラリー

A・B・Cのブースで
スタンプをあつめて
グッズをもらおう！



（グッズ提供：大阪ガス株式会社・梅花女子大学）



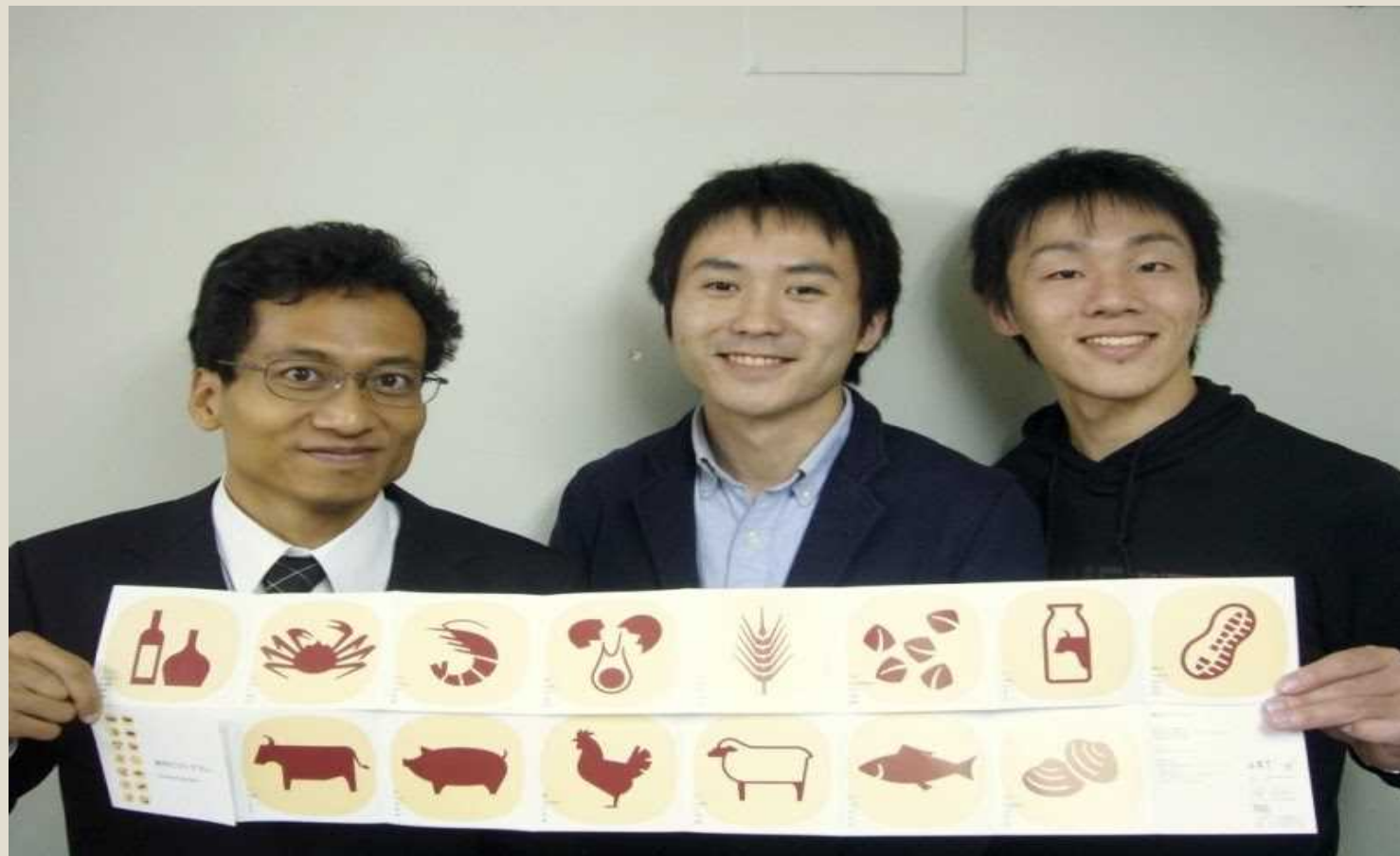
* まんどろ火祭り

地域住民・NPO・行政・企業が協働して、伝統行事を復活。



*** これまでに関わりのあった
大阪大学関係のNPO**

* (特活) インターナショナル





*SWITCH わいわいみのお園



* 楽育共(ライト)



* (特活) あっとすくーる



*タリベ



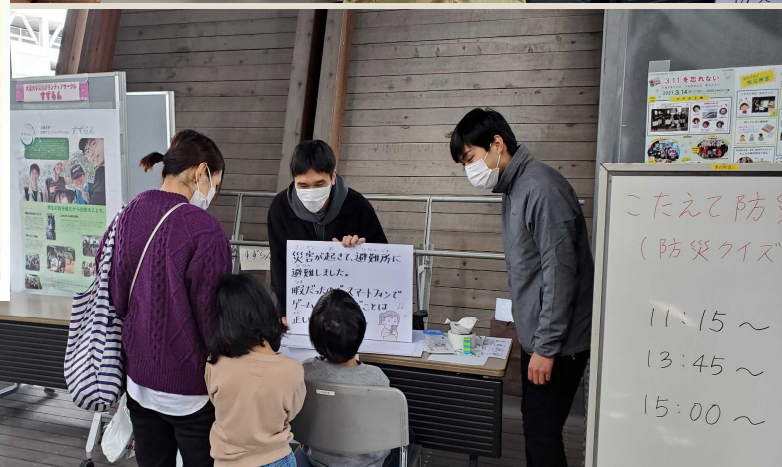
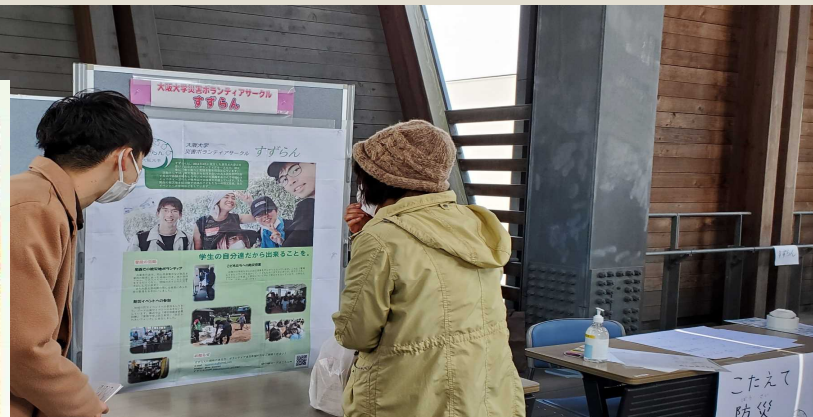
*トウマイニ・ニューバーニ

大阪大学の学生団体
トウマイニ・ニューバーニ
(スワヒリ語で希望を
我が家という意味)

大阪大学学生NGO
トウマイニ・ニューバーニ

商品の売り上げは全額
ケニアに送金しています。
お買いものがママ達の
支援につながります。ご協力

*災害支援サークル すずらん



*みどりのカーテン広げ隊

みどりのカーテン広げ隊



*環境サークルGECS(ゲックス)



コメント

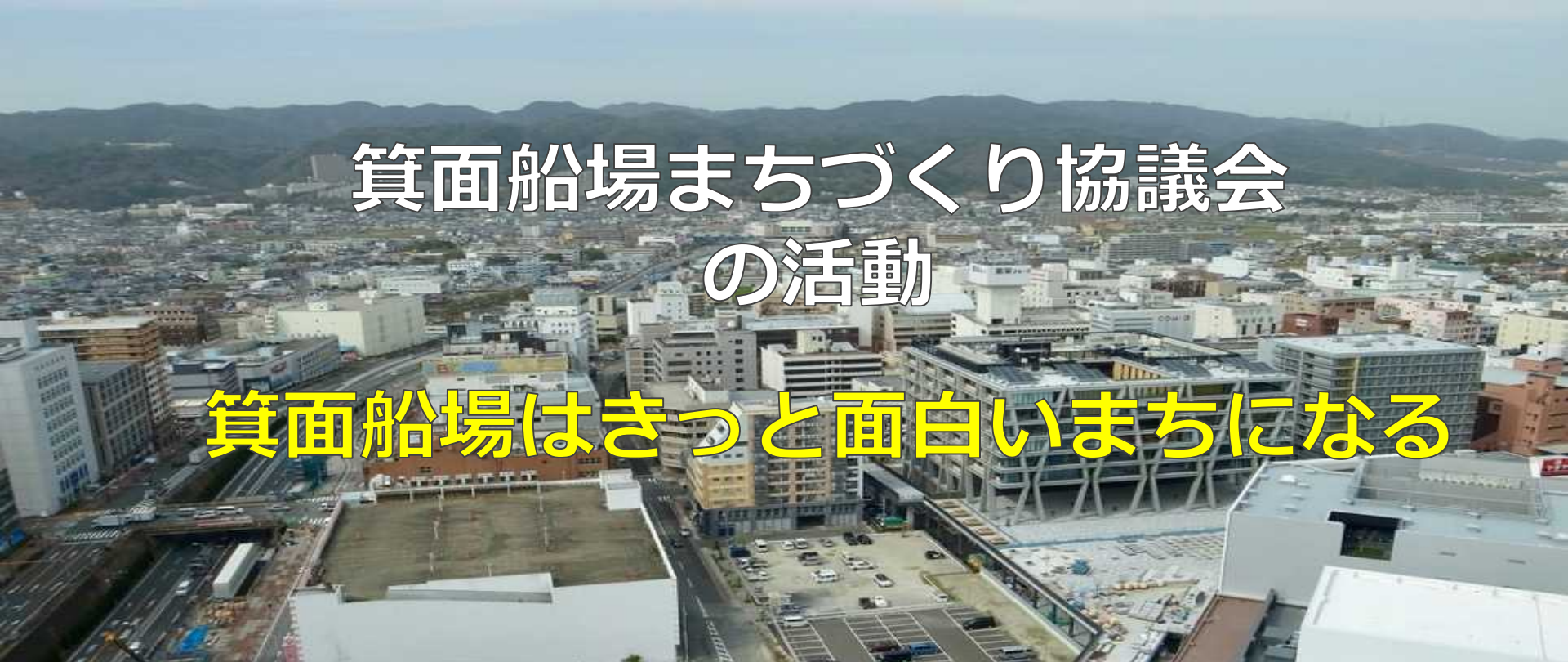
- 様々なNPOがあり、その目的も様々（街づくり、自然保護、環境問題）、それらに横ぐしを通すことは可能か？また行政の支援（内容による判断）が必要に思える。
- このワークショップは、一応「文化芸能国際交流のまちづくり」の頭に、「箕面船場における」と付いているので、「箕面船場」に特化した何かを考えることが出来ないでしょうか。ワークショップの構成メンバーの中では、「MAFGA」や「市民活動フォーラムみのお」や「大阪大学外国語学部」（ただし「メイプル文化財団」は施設管理が主か。）が『文化、国際交流など』を事業活動で行っている団体と思われ、それらが行っている活動をベースに「箕面船場」で行うなんらかの新しい活動を模索出来れば良いと思われます。
- 須貝委員が提示された”課題”において、「船場のまちづくりに関しては、周辺の関係団体の協力がなくては進まない。一方で、どんな人たちがいて、どんな活動をしているのか、まだまだ知らないことが多い。」とのことですので、お互いの有する情報を交換しながら、交流を深め、快適な地域社会づくりに貢献できれば…と考えております。
- NPO全体も高齢化してきているので、世代交代と持続可能な組織づくりの側面で、市民活動センターのサポートが重要になると考えています。
- 実際にどのような団体があり、どのような課題を抱えているのか、シンポジウムの中で紹介された様々な活動や団体を見返して、どのように協力体制を作っていけるか考えてみたいです。あまり知られていないがゆえに活用されていない様々な支援制度について、どのように広報していけばいいのか考えていきたいと思います。学生でも利用できる制度もあり、とても魅力的だったので…
- 「船場の皆さん・学生の皆さんが主体的に関わること」に共感しました。それ自体はまだ未熟で小さなものになるかもしれませんが、すでにこれだけの皆さんがこのワークショップに関わり、それぞれが持っているネットワークや資源でもって脇を固めて支えることは実現可能ではないかと思います。
- 資金面での持続可能性が低いNPOが多いため、行政や地域団体、NPO、第3セクターなどが一堂に会し、できること、してもらいたいことを互いに見つけ合うワークショップをおこなえたらよい。資金以外にも、場所貸しなど、いろいろなリソースを活用しあって、団体の自律的な運営を可能にしていく方向性を、関係者全員で共有し、模索する必要がある。

コメント

- 本ワークショップの集大成・ゴールとして、それぞれの団体や委員が今後の各々の活動においてその方向性を示す「何か」が必要であると考えますので、須貝さんのご提案された「日常からオープンで開放的な関係性や船場といえど…というイメージ、キャッチフレーズが欲しい」とのご提案に大変共感しました。
- キャッチフレーズなどを作ること、各団体に所属する個人が、それぞれの活動を行っていくなかで、適宜方向性を示す指標として参照することができ、活動の意味や目的や、その先に通じる最終ゴールをより意識しながら活動を行うことができるのではないかと思います。
- 共催出来るテーマについて協議を行ったり、定期的な情報交換会を行ったり、出来るところから一緒に取り組むことが出来れば良いと思う。また広報活動を協力しあうなど、さらに関係を高めてより市民への周知を徹底し、イベントなどの活性化に繋げていける。まず箕面船場まちづくり協議会としての実績を積み、箕面船場の名物となるイベント立ち上げてみます。その形が見えてきたら、コラボを色々試み化学反応をたのしめる、そんな箕面船場まちづくり協議会にしていきたいです。

目次

1. 岩城 あすか委員	
『(公財)箕面市国際交流協会の可能性』	P12
2. 米田 信子委員	
『大阪大学外国語学部が目指すもの』	P59
3. 安田 優美香委員	
『語劇祭で知る世界』	P63
4. 阿部 一郎委員	
『創造都市・MINOHを目指して』	P80
5. 須貝 昭子委員	
『まちづくりは人づくり～自分のまちを「住みつづけたいまち」へ～』	P94
6. 小林 利彰委員	
『箕面船場はきとおもしろいまちになる』	P123
7. 村井 淳委員	
『船場西地区連合自治会のご紹介』	P159
8. 山口 裕委員	
『大阪船場繊維卸商団地協同組合について』	P191
9. プリティ 梨佐クリスティーン委員	
『インクルーシブな社会を目指す』	P205
10. 吉岡 邑玲委員	
『音楽の力と箕面船場における活性化の可能性』	P220
11. 森 七恵委員	
『公益財団法人箕面市メイプル文化財団についてー地域に密着した事業展開と地域に親しまれる施設づくりー』	P253

An aerial photograph of a city, likely Fukuoka, Japan, showing a dense urban landscape with various buildings, roads, and a large stadium-like structure. In the background, there are rolling hills or mountains under a clear sky.

箕面船場まちづくり協議会 の活動

箕面船場はきっと面白いまちになる

箕面船場における文化芸術・国際交流の
まちづくりワークショップ

2021年10月25日

INDEX

- 1 協議会発足とその背景**
- 2 協議会の活動**
- 3 情報発信**
- 4 最近の活動と今後**

1 協議会発足とその背景

2 協議会の活動

3 情報発信

4 最近の活動と今後

1 協議会発足とその背景

- ・ 行政に関わる活動は小学校区で分かれている
- ・ 自治会はクローズドな組織で、会員のための経費仕様が原則
- ・ 子ども会が全市で衰退して緩い子ども支援が必要
- ・ エリア全体を俯瞰した「ランドデザイン」の必要性



広範囲で知見、経験のある人材の発掘と活動の場の提供

民の受皿として産・官・学と繋ぐ場の提供

1 協議会発足とその背景

箕面船場エリアの世帯数と人口

船場エリア4小学校区世帯数

7,140 世帯 (11.7%)

エリア人口

16,623 人 (12.0%)

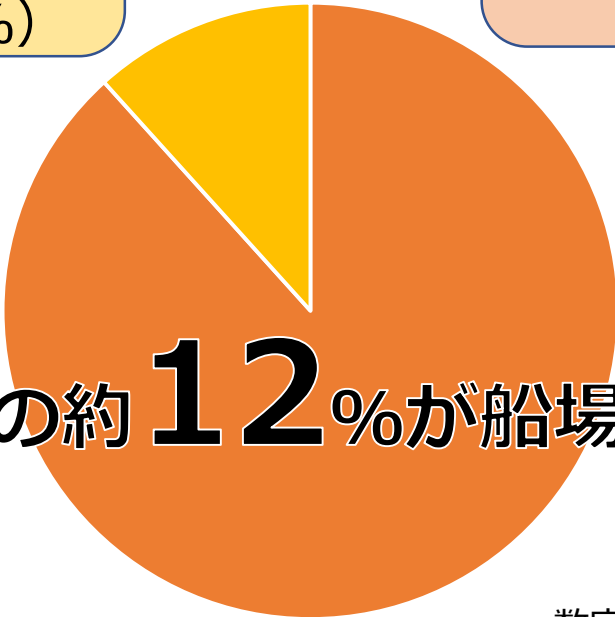
- ・自治会数 30
- ・管理組合数 17

箕面市全世帯数

61,070 世帯

箕面市人口

138,381 人



箕面市の人口の約**12%**が船場エリアに居住

小学校（4校）

- ・萱野小学校
- ・萱野東小学校
- ・豊川南小学校
- ・中小学校

数字は2019年2月住基台帳に基づく

1 協議会発足とその背景〈箕面船場エリア〉



1 協議会発足とその背景〈設立までの流れ〉

2019年3月

・ 第5回箕面船場まちづくりフォーラム開催

2018年7月

・ 箕面船場まちづくり研究協議会〈協議会発足〉

2018年3月

・ 第4回箕面船場まちづくりフォーラム開催

2018年2月

・ 大阪大学外国語学部社会学共創会合

2017年11月

・ 第3回箕面船場まちづくりフォーラム開催

2017年6月

・ 第2回箕面船場まちづくりフォーラム開催

2017年4月

・ 箕面船場まちづくり研究協議会 発起人会

2017年3月

・ 箕面船場まちづくりキックオフフォーラム開催

2017年2月

・ 大阪大学キャンパスデザイン部門との会合

2015年5月

・ 大阪大学キャンパス移転発表

2014年3月

・ 北大阪急行延伸発表



- 1 協議会発足とその背景
- 2 協議会の活動**
- 3 情報発信
- 4 最近の活動と今後

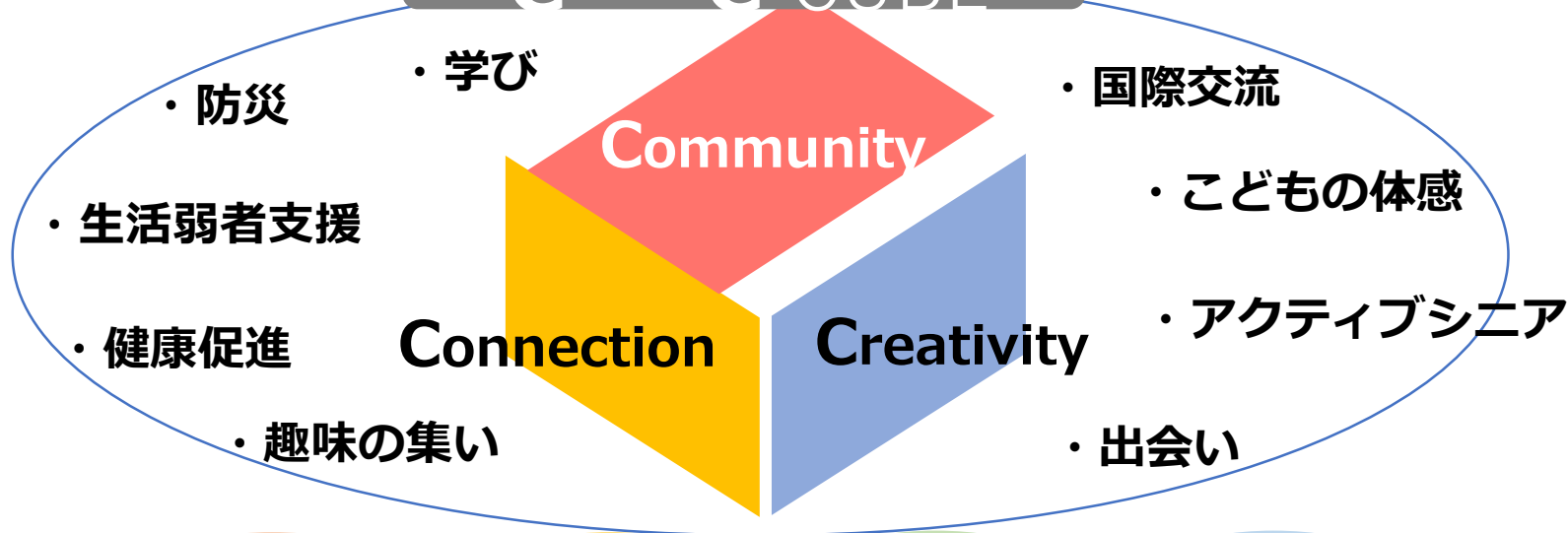
- 箕面市の新しいカタチの文化発信基地
- なによりも穏やかで住みやすいまちへの進行形
- 次の世代へ自信と誇りを持って引きつぐまちづくり
- 大学と地域の英知を集めて協働する
エリアマネジメントの研究と実践

2 協議会の活動

設立コンセプト

集う場・つなぐ場・生み出す場

$C^3 = C \text{ CUBE}$



産

(民間企業)

官

(箕面市)

学

(大阪大学)

民

(市民)

笑顔が集まるまち

リーフレットの作成と配布

文化施設、大阪大学新キャンパス、北大阪急行、民間住宅などの情報をワンプレートにして住民に配布

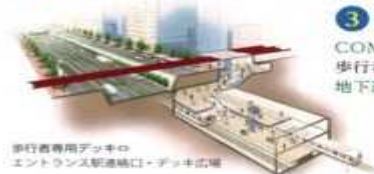
知力を集めて40年目の変

① 市立病院 2024 年度移転

COM 1 号館+新船場北公園(調整池)の跡地に立替移転されます。北大阪急行の箕面船場阪大前駅~箕面萱野駅間の地上上部口のすぐ東側になります。2027 年度小・中学校が現市立病院跡に開校予定です。



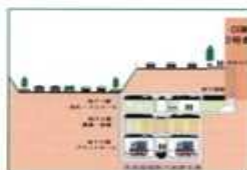
② 箕面船場阪大前駅(M07) 2020 年度内開業



歩行者専用デッキ
エントランス駅通出口+デッキ広場

③ 北出入口

COM 2 号館前
歩行者階段より
地下通路に接続



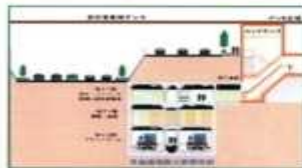
◎安全のポリシー

北大阪急行南北線は全駅に可動式ホーム柵を設置済みです。新駅にも設置予定です。



④ 南出入口 エントランス

歩行者 2階デッキ 1階地上部
昇降機・エスカレーター及び階段で地下通路に接続
自転車 計1458台
うちデッキ下駐輪場
自転車950台、原付496台
うち駅舎機械式駐輪場
自転車508台



エリア
5,500戸
配布

まちの進化論



大阪大学
外国語学部
日本語日本文化
教育センター
2021 年 4 月
移転開学

⑤ 教育研究施設10階建て
教職員 200 名
学生 3,000 名(留学生300名)



⑥ 学寮12階建て
1階店舗2階~324室
学生300名(留学生240名)



新文化ホール
図書館・ 生涯学習センター
2021 年 4 月開館



⑦ 新文化ホール



地下駐車場
自動車110台 自転車2輪66台



大ホール 1,400席



5~6階 生涯学習センター



小ホール 300席



1~4階 図書館
箕面南図書館移設分+
大阪大学蔵書合計71万冊

2 協議会の活動

分科会活動

- ・ 学びに優しいまち
- ・ 感性を刺激し、創造性豊かなまち
- ・ 多様な個性が交わるまち
- ・ 熱いコミュニケーションの
できるまち

文化分科会

- ・ 防災拠点が身近にあるまち
- ・ 普段から親密なコミュニケーションにあるまち
- ・ 大学、地元企業、住民全体で考えるまち
- ・ 防犯や見守りの互助が
広がるまち

共生分科会

4つの 視点

交通分科会

- ・ 交通大動脈の延伸による広域移動
- ・ 利用者への安全と優しさ
- ・ 周辺の通行秩序と接続
- ・ 新市立病院へのアクセス

子育て分科会

- ・ こどもたちのつながり
- ・ 大阪大学とともに新しい学びのしくみづくり
- ・ 地域とともに新しい学びのしくみづくり
- ・ 「赤ちゃん学」の拠点づくり

大阪大学図書館（豊中キャンパス）視察と意見交換

新しい図書館機能の拡大と充実を図る

- ・ 事例収集と新しい活用方法の模索
- ・ 市立図書館と大学図書館の複合による新たな図書館のあり方

GLOBAL COMMONS
OSAKA UNIVERSITY LIBRARY

文化分科会

防災に関するスタディ

しくみ・全体計画

認知

活動

空間 ツール

組織

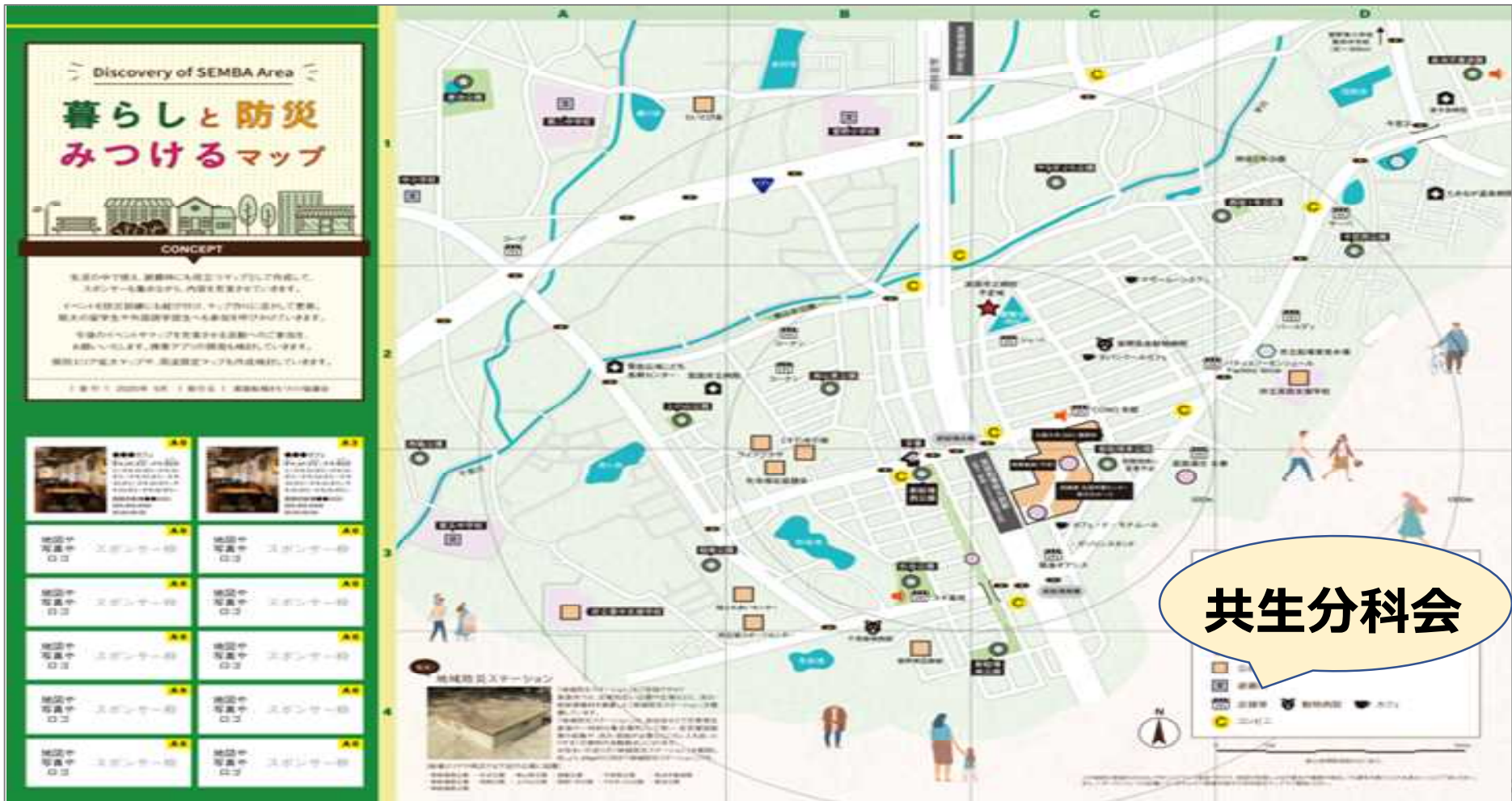
- ハザードマップ
- 避難先と避難経路
- 地域のルール
- 情報（ネットワーク）
- 連絡方法
- 交通とルート

- 避難資源
 - ・指定避難所（小・中学校）
 - ・備蓄品（リスト）
 - ・その他避難空間（公共施設・大学・民間等）
 - ・公園
 - ・防災ステーション
- 在宅（住宅）
 - ・普段の備え（防災）
 - ・耐震対策
 - ・備蓄品

- 組織づくり
 - ・自治会
 - ・子ども会
 - ・組合
 - ・商店・カフェ
- 要支援者の把握
ネットワークづくり

- 避難訓練
- 普段の交流・情報共有
- 要支援者（高齢者や障害者・病人・乳児・・・）との交流や情報共有
- 勉強会による意識づけ

共生分科会



景観と安全性の提案



提案

●大阪大学北側道路は「まちの顔」！

- ・ランドマークとしてのデザイン性
- ・船場中央線の安全性確保
- ・歩行者天国としての利用検討
(国際フェスティバルなど)



イラスト
交通分科会制作

こどもデザインラボ 端材を使ったクラフトワークショップ 企業が廃棄する包装フィルムなどを使った工作

アップサイクル

環境
についての
学び



子育て分科会
×
Vクラフト



防災イベント

遊びながら学ぶ防災知識



主 催：箕面船場まちづくり協議会
共 催：ドルフィンこども会
萱野小校区こども会

場 所：新船場東公園

こどもデザインラボ シールド工事現場見学会

こどもデザインラボ
こどもデザインラボは箕面船場まちづくり協議会が企画することの創造力開発の場です

**「新しく生まれるまちを見つめていこう」第1弾企画
ー 鉄道延伸地下トンネルシールド工事現場見学会 ー**

開催日程：①令和元年12月25日(水) 10:00～12:00
②令和元年12月26日(木) 14:00～16:00
③令和2年1月7日(火) 10:00～12:00
④令和2年1月7日(火) 14:00～16:00

集合場所：熊谷組鉄道延伸工事現場事務所
箕面市船場東2-1-20 ABCビル1階 玄関ロビー
(工事概要・現場坑内注意事項説明ののち出発)

対 象：小学5年生～中学3年生

定 員：各回30名(保護者坑内同行不可) 計120名

申込方法：URL: <https://forms.gle/ZhbKNYclUucXZmg7D7>
または右下のQRコードの申し込みフォームから
ご応募下さい。なお、各回、定員をこえる応募に
つきましては抽選を行います
当選の発表は、12/17・18の参加票の電子メール
発信をもって代えさせていただきます

応募期間：令和元年12月15日(日)まで

参 加 費：100円(含む保険料) 参加当日受付時にお渡し下さい

協力：北大阪急行電鉄株・熊谷組 アシタ 森組 特定建設工事共同企業体(北大阪急行線延伸シールド)
・ドルフィンこども会・萱野小学校区こども会・カトレアこども会

主 催
・お問い合わせ：
箕面船場まちづくり協議会
<https://minohsempa.or.jp>
事務局 箕面市船場東1-8-51-302
担当 南里吉彦(なんりよしひこ)
TEL: 090-3165-7356
E-mail: minohsempa@gmail.com

シールド工事とは？
シールドマシンは、地下にトンネルを掘るための大きな機械です。この機械の先端には、鉄板でできたシールドがあります。このシールドを、地下の地層に押し込んで、トンネルを掘ります。掘ったトンネルの内側には、コンクリートで仕立てます。

QRコード
お申し込みフォーム
QRコード

子育て分科会



- 1 協議会発足とその背景
- 2 協議会の活動
- 3 情報発信**
- 4 最近の活動と今後

エリア内全住民への広報

- ・組織の認知度拡大 まちづくりへの認識と参画促進 人材の発掘
- ・地域コミュニケーションと共助意識の醸成、側面支援
- ・活動案内パンフレットと活動報告の全戸配布
- ・工事状況やレアな地域情報の自治会、管理組合への提供

箕面船場まち知るべ
の
発行・配布



ホーム 最新情報 学び・交流 まちの交通・ひとの移動 安心安全・助け合い 子育て 協議会について お問い合わせ

箕面船場まちづくり協議会

2021年4月
開設



ホームページでの情報発信

<https://www.minohsemba.com>

- 1 協議会発足とその背景
- 2 協議会の活動
- 3 情報発信
- 4 最近の活動と今後**

コロナ禍で気づいたこと・発見したこと

コロナ禍で協議会としてどのような活動ができるか、課題を出し合って各分科会の活動に活かせるテーマを探った



コロナ感染症に関する意識や課題出し／質問応答まちづくり協議会

[illegible]

コロナ禍での 気づき キーワード

こども未来会議 ワークショップ開催

テーマ：こどもたちが考える「こんなまちがいいなあ」



地域イベントへの参加〈箕面国際フェスティバル〉
箕面国際フェスティバル運営委員会メンバーとして参画



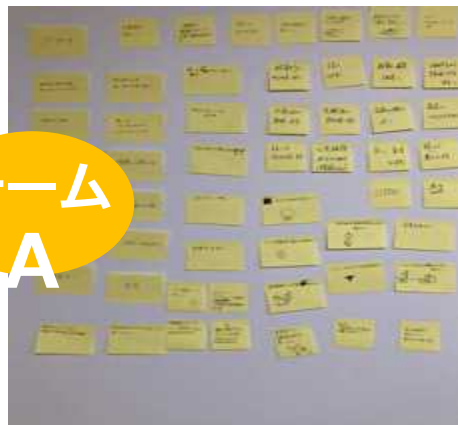
参加したこどもたちの感想

- 普段考えないことを考えることができた
- 一人では考えつけないことを知った
- 他の人が考えていることや、みんなの意見が聞けてよかった

箕面国際フェスティバル運営委員会メンバーとして参画

こども未来会議 ワークショップ開催

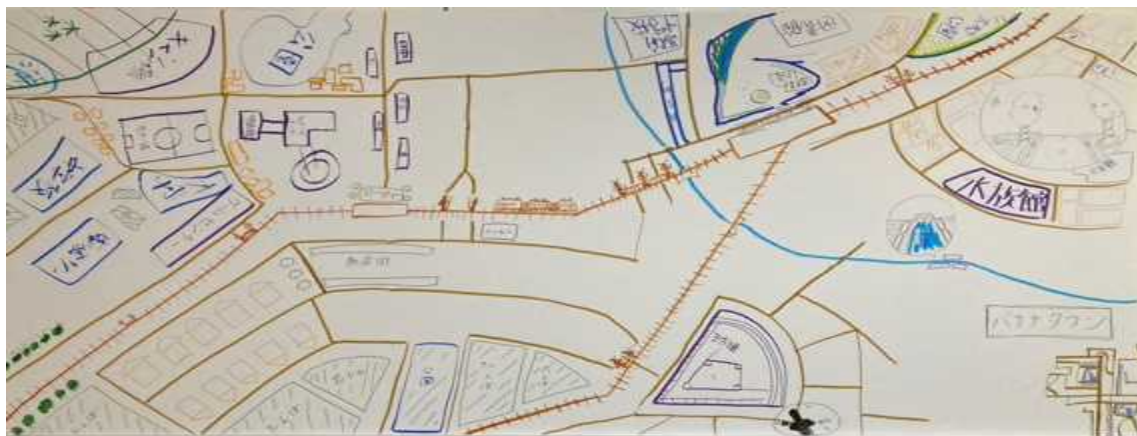
チーム
A



チーム
B



ふたつのチームのメンバー全員で考えた アイデア・みんなで描いた「まちの絵」



箕面船場図書館との情報交換

提 案

- **学びに寄り添う図書館づくり
本が喜ぶ図書館づくり**
 - ・ 自学自習機能の確保
 - ・ こんな本があったの!? 眠れる宝「本」の世界へようこそ!
 - ・ 船場しゃべり場
- **結ぶ・交わる・沸騰する**
 - ・ 箕面船場寄席（講義・講演）
 - ・ 課題解決！箕面船場サロン
（ワークショップ、デイトタイム・サロン）
- **地域の子供たちと阪大学生によるPBL**
 - ・ プロジェクト・ベースド・ラーニングを用いてWin-Winの関係を築く
- **インバウンド対応ボランティアガイド
実践プロジェクト**
 - ・ 語学力と社会知識(地理、歴史、文化、産業、政治、経済)を身に付けたボランティアガイドを育成し、訪日外国人への案内を行う



地域活動〈ラジオ体操〉

実施日：平日の午前 **7** 時から

場 所：船場広場

7月21日
スタート!新しい箕面船場デッキ広場で
ラジオ体操が始まります
最も古く最も新しい「体幹トレーニング」です

4つの効果 ラジオ体操は、たった3分で全身運動ができます

・有酸素運動 ・筋トレ ・ストレッチ ・バランス運動

1951年に誕生し、70年の間ラジオ体操は体幹を鍛え、身体の左右のバランスを正す運動として箕面市も推奨しています

実施日：平日（月～金）am 7：00 ～ am 7：30

2021年7月21日（水）から始まります

会 場：箕面船場デッキ広場（船場図書館前の広場）
地域にお住まいの方はどなたでも参加いただけます

雨天など中止の場合は箕面船場まちづくり協議会役員が会場でお伝えします



主催：箕面船場まちづくり協議会

検索

7月から
スタート

4 最近の活動と今後

地域イベントへの参加 〈シンポジウム〉

開催日：2021年**12月5日**（日）

主 催：大阪大学

共 催：箕面市

箕面船場繊維卸商団地共同組合
箕面船場まちづくり協議会

場



主催：大阪大学
共催：箕面市、大阪船場繊維卸商団地協議会、箕面船場まちづくり協議会

シンポジウム 地域と大学の関りのこれから ～箕面船場地域の発展～

大阪大学 90 周年・大阪外国語大学 100 周年事業

2021 年 4 月に大阪大学箕面新キャンパスが開校しました。5 月に箕面市立船場地区センター・生涯学習センターが開校し、6 月には箕面市立文化芸術劇場もオープンしました。箕面船場では新たなまちづくりが熱々と進んでおり、学術・文化・芸術・子育てのまちとしての期待がさらに高まっています。大阪大学は周辺の市役や周辺地域者・事業者のみならずこれから共に「お隣さん」としてやがていくことになります。このシンポジウムでは学・官・民・産それぞれの立場から将来の展望を語りあい、未来のまちの姿を具現化していきたいと考えています。

なお、対面とオンラインのハイブリッド開催を計画していますが、コロナ禍の状況に応じ、オンラインのみとする場合があります。

日 時 令和 3（2021）年 12 月 5 日 13:30 ～ 16:30（受付開始 13:00）
開会挨拶 山根 聡 大阪大学 大学院言語文化研究科長
進行司理 吉岡 聡司 大阪大学 サステイナブルキャンパスデザインセンター/准教授
議題提供（座談者）6 の方向性から、一語も更新する可能性が秘蔵
司 会 上島 一彦 箕面船場まちづくり協議会代表理事
小林 利彰 大阪船場繊維卸商団地共同組合 代表
松尾 康久 大阪船場まちづくり協議会代表理事
大塚 孝 大阪大学 言語文化研究科 教授
竹村 景子 大阪大学 言語文化研究科 教授
加藤 聡 大阪大学 言語文化研究科 教授
議題提供者によるパネルディスカッション 進行：吉岡 聡司（司理）
司 会 澤本 昌典 大阪大学 サステイナブルキャンパスデザインセンター/准教授
池内 輝晃 大阪大学 サステイナブルキャンパスデザインセンター/准教授

キャンパス紹介の動画を配信します。
※追加、変更の動画を配信する予定です。
視聴方法は、お申し込み頂いた方々に別途ご連絡します。
（一部変更の可能性があります）

★大阪大学 言語文化研究科長
★大阪大学 サステイナブルキャンパスデザインセンター/准教授
★箕面市立 船場劇場、大阪大学 90 周年事業
★動画視聴のみのお申し込みは受け付けません。なお、後日こちら動画を一般公開する可能性があります。

お申し込み受付
10/11 月号から開始
※切：11/5 金曜
但し、定員に達し次第
締め切ります
定員：現地 100 名＋
オンライン 100 名
参加無料

お申込み：大阪大学サステイナブルキャンパスデザインセンター/准教授
キャンパスデザイン部/コーディネーター
【QRコード】
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/ed_support/sustainable-campusoffice/campusdesign/
お問合せ：大阪大学 言語文化研究科 総務管理課
kankyou-kakaku@office.osaka-u.ac.jp

令和 3（2021）年 12 月 5 日（日曜日）
大阪大学 箕面キャンパス 外国学研究講義棟にて

4 最近の活動と今後

こどもたちの自主性・自律性・創造性を育む活動

こどもたちが自分で考える力を養い、協調性や社会性・創造性
を身につける取り組み

箕面船場 このまちはこども達が継がないで豊かになる

こどもたちが運営するまち
"Mini Mi~no"

こどもたちの
自律性・社会性の育成

- こどもたちがまちを運営
- 社会のしくみを体験

こどもデザインラボ

こどもたちの
創造性・協調性の育成

- こども未来会議（WS）
- アートやクラフト
- 見学会やフィールドワーク

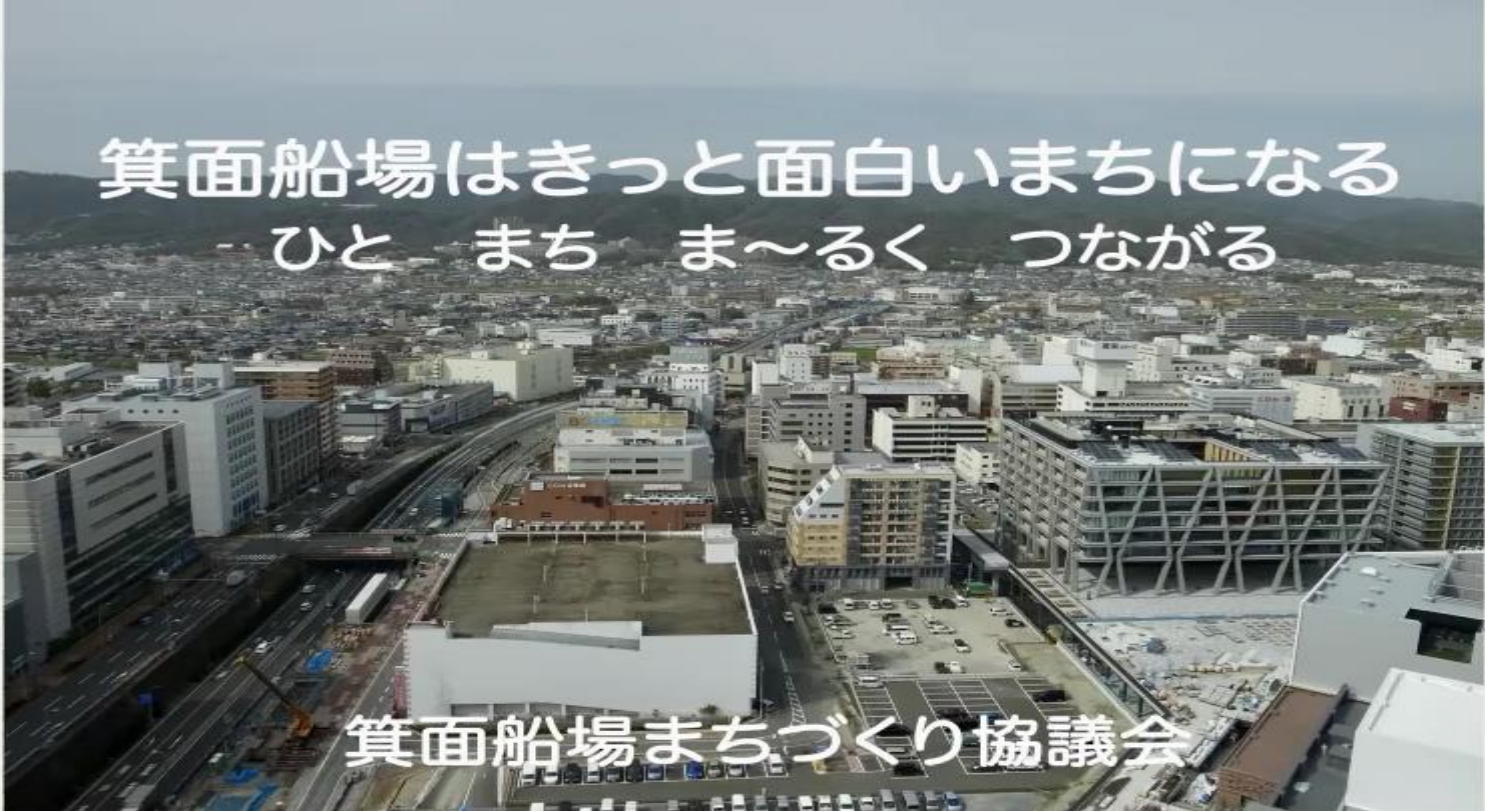
4 最近の活動と今後

協議会とステークホルダー

共感・協調・共創



エリア内だけでなく、箕面市全域、周辺に至る人材の参画を広く求めて活動の
礎とし、産・官・学・民協働の活動を目指す

An aerial photograph of a city, likely Fukuoka, Japan. In the foreground, a large stadium with a distinctive white, geometric, lattice-like roof structure is under construction. To the left of the stadium, there are several multi-story buildings and a large parking lot. In the background, a dense urban area stretches towards the mountains. The sky is overcast.

箕面船場はきっと面白いまちになる
ひと まち ま〜るく つながる

箕面船場まちづくり協議会

ありがとうございました



箕面船場まちづくり協議会

コメント

- 極めて意欲的に「箕面の街づくり」に取り組んでおられ、このような実践を、メンバーの皆様のお気持ちを大切にしながら今回の「全体像」にどのように含みこむかが、このワークショップの重要な視点ではないかと認識した。
- 会議で何方かが確認されてた様に、「箕面船場まちづくり協議会」さんは志の高い有志で構成された組織であり、他のNPO法人や公益財団法人と違い事業を成すことを目的とした組織では無いとのこと。財源も箕面市の「夢の実支援金」が主とのことで、ボランティア色が強い組織の様に見受けられる。よってこれから行う事業の規模を拡大して行く過程ではその辺りの対策を検討する必要があるか。
- ワークショップ開催時の質疑応答の中で、小林委員は協議会の役割として「僕らはプラットフォームを造っているんです。」とおっしゃっていました。この点についてもう少し具体的なお説明があればプラットフォームのイメージもできあがり、したがって箕面船場まちづくり協議会に対する理解も深まるのではないかと思います。
- 船場のまちづくりの要素として大阪大学外国語学部、国際交流協会と並んで箕面船場まちづくり協議会の存在は大きいと感じています。地域住民、特にまちづくりに関心の高い市民の存在なくして船場のまちづくりは成り立たないと思うからです。
- 今後は、地域住民や関心のある市民の皆さんとの出会いの場づくりが重要な要素になると思います。大きなイベントはインパクトがあり多くの人との交流を図れますが、あくまで手段なので、その先の日常の活動にどう活かしていくのかを一緒に考える仲間作りが大切だと感じました。国際フェスティバルの子ども未来会議で集った夢の種が、今後のまちづくりにどんな花を咲かせるのかが楽しみです。
- 今回の船場のまちづくりの成果は、当然のことながら、箕面市全体に浸透させていく必要があります、そのための施策が必要です。オール箕面での取り組みが求められます。
- 箕面船場まちづくり協議会は本当に大きなコミュニティを抱えていらっしゃいますので、その中で行われている活動の情報を共有する中心的な立ち位置に立たれるのではないかと思います。何か箕面船場地域について知りたいことがあった時、すぐに情報収集に活用できるような体制が整っていれば、より多くの人々が注目する身近な団体としてさらに活躍されるのではないかと思います。
- さまざまな取り組みをとおして、船場にお住まいの皆さんの率直な思いを聞いておられると思うので、ぜひそれを聞かせていただき運営に活かせたらと思います。

コメント

- 地域の皆さんからこの複合施設やこのエリアがどんな風に見えるのか、運営に関わってしまうとどうしてもその感覚がなくなってしまう。先端を行きつつも、地域の皆さんを置いてけぼりにせず、お互いに刺激しあう関係を築けたらと思います。
- また、子どもたちへのアプローチは必須の事柄だと思います。生涯学習センターでも子ども向け講座や親子講座、子育て講座など開催できるようにすれば良いと思います。
- 子どもが中心となる場づくりをするために、子ども、若者限定の「企画委員」を募ってはどうか。彼らが自由に使える場所、予算を確保するのは大人・行政・地域団体、第3セクター、企業、企業組合で話し合う。当事者である「子ども&若者」の中に、地域を変えていく答えはあると思うので、安心して任せられる仕組みづくりに取り組んでいただきたい。
- コロナ禍の中での活動の考え方をテーマとしてワークショップを開かれたとのことですが、本ワークショップでも参考になるものがありそうだと思います（「コロナ禍での気づきキーワード」、気になります）。
- 子どもの意見を募るなど、多角的な視点でまちづくりを考えられており、面白いと思いました。
- 箕面市、大阪大学、様々な民間団体との間の橋渡しのイメージがわきました。

目次

1. 岩城 あすか委員	
『(公財)箕面市国際交流協会の可能性』	P12
2. 米田 信子委員	
『大阪大学外国語学部が目指すもの』	P59
3. 安田 優美香委員	
『語劇祭で知る世界』	P63
4. 阿部 一郎委員	
『創造都市・MINOHを目指して』	P80
5. 須貝 昭子委員	
『まちづくりは人づくり～自分のまちを「住みつづけたいまち」へ～』	P94
6. 小林 利彰委員	
『箕面船場はきっとおもしろいまちになる』	P123
7. 村井 淳委員	
『船場西地区連合自治会のご紹介』	P159
8. 山口 裕委員	
『大阪船場繊維卸商団地協同組合について』	P191
9. プリティ 梨佐クリスティーン委員	
『インクルーシブな社会を目指す』	P205
10. 吉岡 邑玲委員	
『音楽の力と箕面船場における活性化の可能性』	P220
11. 森 七恵委員	
『公益財団法人箕面市メイプル文化財団についてー地域に密着した事業展開と地域に親しまれる施設づくりー』	P253

令和3年（2021年）11月15日（月）

第4回箕面船場における文化芸術国際交流のまちづくりワークショップ

船場西地区連合自治会のご紹介

自治会の活動内容ならびに乗り越えるべき諸課題について

船場西地区連合自治会長 村井 淳

1. 船場西地区連合自治会の活動範囲
 2. 船場西地区連合自治会と箕面市および各種団体との交流図
 3. 年間事業計画例とその内容について
 4. 会則・細則上の約束事と現実の壁
 5. 自治会活動に伴う個人負担を軽減するために
 6. 当面する地域の課題をめぐって
- ・船場地区への期待

- ・自治会の歩み
- ・「箕面市の自治会を考える会」に参加し、現在取り組んでいることについて

1. 船場西地区連合自治会の活動範囲



注) 箕面市ホームページより



注) 萱野小学校下区域図(株式会社日本特殊地図協会作成)より

箕面船場地区の航空写真

(写真提供: 大阪船場繊維卸商団地協同組合)



昭和48年～49年頃の風景



昭和56年～57年頃の風景

船場西地区連合自治会 会則（抜粋）

第1章 総則

第1条（名称）

本会は、船場西地区連合自治会（以下「本会」という）と称する。

第2条（区域）

本会の地域は、箕面市船場西1・2・3丁目及び萱野5丁目の区域内とする。

第3条（事務所・倉庫・掲示板）

本会の事務所は、当自治会会長宅に置く。尚、杉谷公園北西階段下に倉庫を保有している。又、杉谷公園正門右側、新船場南公園内南東角、新船場西公園石垣下北西角に掲示板を保有している。

第2章 目的及び事業

第4条（目的）

本会は、会員共助の精神に基づき、以下の行事を行い、もって地域社会の向上発展を図ることを目的とする。

1. 地域住民の交流と福祉の向上に関すること
2. 環境整備、公衆衛生に関すること
3. 公園、道路等の清掃・美化に関すること
4. 防犯及び防災に関すること
5. 行政及び関連団体との協力・連絡調整に関すること
6. その他本会の目的達成に必要なこと

第5条（事業）

本会は、前条の目的を達成するため、以下の5部会を設置し、別に定める細則第3条に基づき諸活動を行う。

1. 総務部会
2. 環境部会
3. イベント部会
4. 福祉部会
5. 広報部会

第4章 役員及び理事

第9条（種別）

本会は、正会員の中から選任する下記の役員及び理事を置く。尚、役員は、船場西防災会の役員を兼務する。又、理事は、船場西防災会の分会長又は副分会長を兼務する。

1. 会長 1名
2. 副会長 2名
3. 部会長・副部会長 5名～10名
4. 会計 2名
5. 理事（各棟、地区毎の班長・副班長）
6. 監査役 2名

第10条（職務）

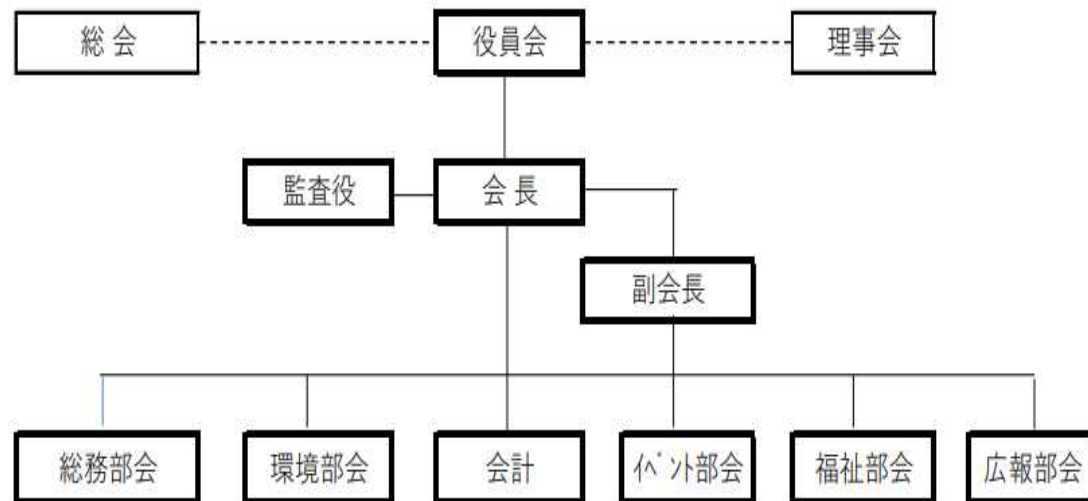
- 会長は、本会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるとき、又は会長欠席のときは、会長があらかじめ指名した順序によってその職務を代行する。
- (3) 部会長は、会長指揮の下に細則第4条の職務を遂行する。
- (4) 副部会長は、部会長を補佐する。
- (5) 会計は、本会の会計事務全般を処理する。
- (6) 理事は、理事会を構成し会務の審議・決定をしなければならない。また、班内会員からの要望事項を理事会等において提案検討し、本会の円滑な運営に協力する。更に、府・市その他の公共機関並びに本会からの連絡事項等を会員に速やかに伝達する。
- (7) 監査役は、本会の財産状況、会計処理状況、役員の業務執行状況を監査し、不正があるときはこれを総会に報告しなければならない。

第11条（選任）

役員は、推薦もしくは立候補に基づき会員の中から総会において選出する。役員の定員は12～17名とする。

- (2) 理事は、各班の規定によって選出される。理事の定員は細則で定める。
- (3) 理事は、理事会に届け出て承認を受けるものとする。
- (4) 理事は、役員を兼務することができる。
- (5) 監査役は、他の役員を兼務することができない。
- (6) 役員会は、必要に応じて顧問を置くことができる。顧問は、必要に応じて役員会に出席して助言を行う。
- (5) 役員会は、必要に応じて事務局を置き、役員会の庶務を担わせることができる。但し、事務局は役員会の議決権を有しない。

船場西地区連合自治会組織図



会長	むらい じゅん 村井 淳
副会長 兼総務副部会長	おおやぶ ひろかず 大藪 広一
副会長	ろく た ゆうこ 六田 裕子
総務部会長	み かみ たろう 三上 太郎
環境部会長	いのうえ じろう 井上 次郎
イベント部会長	いし しか み ち こ 石坂 美智子
イベント副部会長	ごう だ かんじ 郷田 寛二
イベント副部会長	どもん だいすけ 土門 大介
福祉部会長 兼環境副部会長	もり や かずお 守屋 和雄
広報部会長	おかもと えいこ 岡本 英子
会計	くり はら さとこ 栗原 智子
会計 兼福祉副部会長	くさの よしえ 草野 良枝
監査役	かげやま たけし 蔭山 健
監査役	しもがき くにひこ 下垣 邦彦

船場西地区連合自治会 細則（抜粋）

第1条（総則）

本会の運営に当たっては、細則を理解遵守し、地区内住民が安心し快適な生活環境を維持できるように会員共助の精神に基づき、良好な環境の維持向上に努めなければならない。

（2）自主的な防災体制を構築し、地区内住民の安全な生活環境の確立に努めなければならない。

（3）船場西防災会の経費は、本会の会費及び寄付金をもってあてる。

第2条（構成・任務）

各理事の選出は、それぞれの班の規定に従い選出すること。

（2）各理事は、当自治会の任務を良く理解し協力すること。

（3）理事の交替は、その都度当自治会に速やかに報告すること。

第3条（ブロックの編成と役員の選出）

会則第7条（構成）で定めるブロックと会則第9条（種別）に定める各ブロックの役員候補者の選出は、原則として下記の通りとする。

南山東ブロック＝1, 3-1, 3-2, 21, 28-1, 28-2, 28-3, 28-4 班：3名

新船場西ブロック＝4, 5, 6 西A, 7, 8, 9, 26 班：3名

杉谷ブロック＝6 東, 6 西B, 10, 12, 13, 23 班：3名

新船場南ブロック＝15, 16, 17, 18, 19, 24, 27 班：3名

計 12名

ブロック編成とブロック毎の定員の変動は、必要に応じて役員会で協議し、理事会承認の上これを認めるものとする。但し、役員候補者の総数は、最低12名を確保しなければならない。

第4条（部会の職務）

自治会会則の第5条、5部会の活動範囲を以下のように定める。

総務部会 省略

環境部会

①地域内の清掃等住み良い環境づくりに努める。

（地域内の清掃・公園の美化清掃・防犯灯の整備等）

②公園の美化清掃については、杉谷公園、新船場南公園をその範囲とする。
杉谷南公園、新船場西公園においては、清掃を実施しているボランティア団体と連携する。

③開発行為に対する事前協議に対応する。

④防災・防犯に対する具体的な内容を構築し推進する。

（船場西防災会、萱野小地区防災委員会関係業務等）

⑤公害、景観、騒音について広く情報を集め、適切な処置を講ずる。

⑥ゴミ問題に取り組み循環型社会を目指す。

⑦上記に関する関係事項についての行政等との折衝を行う。

イベント部会 省略

福祉部会

①地域コミュニティセンター「くすの木の家」への運営に協力する。

②萱野小地区福祉会の活動に協力する。

③萱野小校区青少年を守る会の活動に協力する。（こどもの安全見守り隊、青色防犯パトロール等）

④萱野小学校・第五中学校の行事等に協力する。

⑤高齢化社会への対応と幼児・児童の安全確保に努める。

⑥社会福祉協議会の行事に協力する。

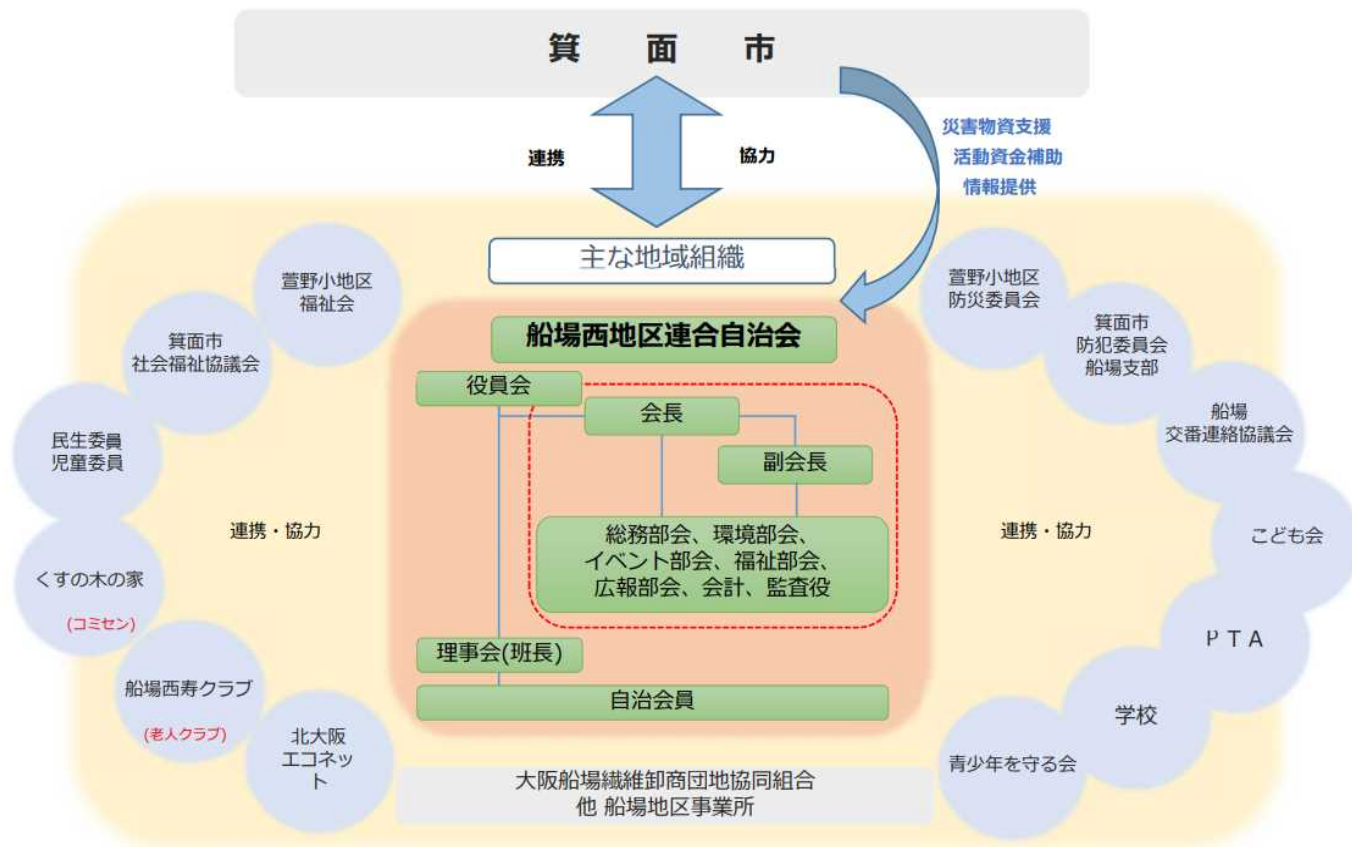
（社協会員募集・日本赤十字社・赤い羽根共同募金・歳末助け合い等の募金活動・バザーへの参加）

⑦その他福祉の向上に関する活動を行う。

広報部会

省略

2. 自治会と箕面市および各種団体との交流図



3. 年間事業計画例とその内容について

月	日	事業	月	日	事業
4月	2・16 21	公園清掃活動 総会・懇親会	10月	1～ 1・15	赤い羽根共同募金 公園清掃活動 広報紙第44号発行
5月	1・14 12	公園清掃活動 使用済み天ぷら油回収	11月	～30 5・19	赤い羽根共同募金 公園清掃活動 親睦バス旅行
6月	1～ 4・18 9	社協・赤十字寄付金 公園清掃活動 箕面クリーン作戦 広報紙第43号発行	12月	1～31 3・17 28～29	歳末助け合い募金 公園清掃活動 社協バザー協力 歳末夜警
7月	2・16	公園清掃活動	1月	7・21 13 13 17	公園清掃活動 どんど焼き 使用済み天ぷら油回収 全市一斉総合防災訓練 (黄色いハンカチ作戦)
8月	3 6・20 19～24	船場西の夏まつり (第39回納涼盆おどり) 公園清掃活動 ラジオ体操	2月	4・18	公園清掃活動 広報紙第45号発行
9月	3・17 15	公園清掃活動 使用済み天ぷら油回収	3月	3・17	公園清掃活動

	役員会	理事会
4月	6日	21日(総会)
5月	12日	26日
6月	2日	30日
7月	7日・28日	21日
8月	18日	25日
9月	1日	29日
10月	6日	27日
11月	3日	24日
12月	1日	15日
1月	5日	26日
2月	2日	23日
3月	1日	29日

(1) 船場西の夏まつり



注) 夏まつり用プログラムの表紙



(2) クリーン・みのお作戦

市内一斉・地域清掃の日

クリーン・みのお作戦

令和元年 6 月 9 日 (日)

午前 9 時～正午 (雨天中止)

- ◇ 清掃場所は各居住地域周辺の道路・公園等の公共施設です。
- ◇ ボランティアごみ袋は当日中に箕面市環境整備室が回収します。
- ◇ 清掃後、余ったごみ袋は保管し、他のボランティア清掃時に使用して下さい。今後使用予定がない場合はごみ袋集積場所に置いて下さい(当日のごみ収集時に引き上げます)。
- ◇ ごみ袋と収集に関するお問い合わせ先は下記の通りです。

箕面市 市民部 環境整備室(環境クリーンセンター内)

TEL:072-729-2371(直通)

注) 会員向けご案内ポスター



(3) 使用済みてんぷら油回収

近隣の皆様のご協力をお願いします

使用済み天ぷら油回収

9月13日(日)に行います

ごみとして廃棄されるものを、酸性雨を防止する燃料に再生して、二重に環境保護に役立つ事業として1月、5月、9月の年3回実施しています。



料理後の廃食油

ディーゼル燃料

廃食油の回収

BDF燃料精製

使用済み天ぷら油の 90%以上がゴミとして廃棄されています。下水に流す悪いケースもあり、コップ1杯の油の処理に80トン必要です。これを回収して BDF(バイオディーゼル燃料)に再生すると、軽油に比べて廃ガスの黒鉛が1/3になり、硫黄も殆どないので酸性雨も防止できます。

〈回収方法〉使用済み天ぷら油をペットボトル等の空容器に入れてご持参下さい。
(回収は無料で行います)

〈回収日時〉令和2年9月13日(日) 10:00~13:00

〈回収場所〉杉谷公園(船場西2丁目 スギ薬局北側)

〈問合せ先〉船場西地区連合自治会 村井(072-729-8988)
北大阪エコネット 後藤(072-735-7633)

主催: 船場西地区連合自治会 協力: 北大阪エコネット

注) 会員向けご案内ポスター



(4) どんど焼き

船場西地区連合自治会

年末年始催事のご案内

歳末夜警巡回

日時：令和元年12月28日(土)、29日(日) 19:00～20:00

場所：コミュニティセンター「くすの木の家」大会議室

(雨天でも19:00には一旦お集まりください)

各班当番日程：各班1名以上のご参加をお願い致します。

12/28(土) [北コース] 1, 3-1, 3-2, 4, 5, 6 西A, 7, 8 班

[南コース] 6 東, 6 西B, 10, 15, 16, 24, 27 班

12/29(日) [北コース] 21, 28-1, 28-2, 28-3, 28-4, 9, 26 班

[南コース] 12, 13, 23, 17, 18, 19 班

どんど焼き

日時：令和2年1月13日(月・祝)

8:00 受付 10:00 点火 11:00 終了

場所：杉谷公園グラウンド

☞ ぜんざい・お神酒を振る舞います。

☞ しめ飾りのみかんは燃えにくいので外して下さい。

新聞紙・雑誌等の一般不用品はご遠慮下さい。

使用済み天ぷら油回収

日時：令和2年1月13日(月・祝) 10:00～13:00

場所：杉谷公園グラウンド

ご協力の程よろしくお願い致します

全市一斉総合防災訓練

日時：令和2年1月17日(金) 10:00～12:00

☆ 10:00に防災スピーカーからサイレンが鳴ります。

会員各位は10:00になりましたら黄色いハンカチ作戦を実施して下さい。



杉谷公園(船場西二丁目)にて

注)会員向けご案内ちらし

(5) 赤十字活動資金ならびに箕面市社会福祉協議会活動協力金について

自治会長 様

社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会

会 長 石 田 良 美

令和２年度社協活動協力金（社協会員会費）
継続及び新規の協力方について（お願い）

時下、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、箕面市社会福祉協議会（箕面市社協）の活動諸般にわたり、格別なご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とした団体として「社会福祉法」において明確に位置づけられた、各市町村に一つだけ設置が認められている公共性・公益性の高い福祉団体です。

箕面市社協では、現在、地域福祉の推進組織である地区福祉会が中心となり、住民一人ひとりが地域で安心して暮らせるまちづくりを目指して、各種サロン活動や見守りネットワークなどの「小地域ネットワーク活動」を様々な形で展開しています。この他、介護保険事業等の在宅福祉サービスをはじめ、ボランティアセンターの運営を通し、住民の皆様が身近に福祉と親しみ、参加できる環境づくりなど、生活支援に関わる総合サービス事業を提供しています。

こうした活動への理解や参画を得、財源確保を図るために、「社協活動協力金（社協会員会費）」制度を実施しています。令和元年度は13,566名の方にご協力いただき、12,752,000円の活動協力金を納入していただきました。このうち60％は、各小学校区の地区福祉会の活動費として活用されております。

自治会長様におかれましては、公私何かとご多忙のことと存じますが、本趣旨をご理解いただきまして、貴自治会員の皆様へご周知方並びに募集のご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、この文書の到着後に自治会長様がお代されている場合にはお手数をおかけいたしますが書類の引き継ぎをよろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会 総務課
TEL 072-749-1575 FAX 072-727-3590

赤十字活動資金（協力金）集計結果

		(単位:円)		
ブロック	班	名 称	令和2年度	令和3年度
南山東	1	一般住宅船場西1	10,150	9,000
	3-1	一般住宅船場西1	9,550	6,500
	3-2	一般住宅船場西2	14,600	14,212
	21	日本航空社宅	16,000	29,000
	28-1	一般住宅豊野5		
	28-2	一般住宅豊野5	500	3,500
	28-3	一般住宅豊野5		
	28-4	一般住宅豊野5	500	3,000
新船場西	4	北瀬グランドコーポ	12,000	12,500
	5	ファミユ千里、マルホヘイツ	6,000	5,500
	6西A	一般住宅西地区A2	6,500	5,500
	7	ハイツサンローゼ	11,500	10,000
	8	新舞臺ヘイツ	4,500	7,000
	9	サニーヘイツ	5,000	5,000
杉谷	26	ルネ桜楓館	7,500	7,000
	6東	一般住宅東地区2	2,500	2,300
	6西B	一般住宅西地区B2	7,306	14,000
	10	セブンヘイツ	16,250	18,822
	12	第一ヘイツ	12,500	8,000
	13	プライムヘイツ	11,000	20,500
新船場南	23	一般住宅船場西3-13		1,400
	15	セントラルヘイツ	14,520	17,420
	16	パークヘイツ	12,300	10,000
	17	ビユーヘイツ	5,000	5,000
	18	一般住宅船場西3-7	1,000	500
	19	千里ドオル	19,200	19,200
	24	一般住宅船場西3-9	500	500
	27	ジャークレフ千里中央	500	
個人会員			1,500	2,000
合 計			208,376	237,354

箕面市社会福祉協議会活動協力金 集計結果

		(単位:円)		
ブロック	班	名 称	令和2年度	令和3年度
南山東	1	一般住宅船場西1	12,000	9,000
	3-1	一般住宅船場西1	14,500	13,500
	3-2	一般住宅船場西2	17,000	17,000
	21	日本航空社宅	40,000	29,000
	28-1	一般住宅豊野5		
	28-2	一般住宅豊野5	500	5,000
	28-3	一般住宅豊野5		
	28-4	一般住宅豊野5	500	3,000
新船場西	4	北瀬グランドコーポ	13,500	13,500
	5	ファミユ千里、マルホヘイツ	7,000	6,500
	6西A	一般住宅西地区A2	6,000	6,000
	7	ハイツサンローゼ	15,500	14,500
	8	新舞臺ヘイツ	23,500	12,000
	9	サニーヘイツ	23,000	25,000
杉谷	26	ルネ桜楓館	11,000	8,500
	6東	一般住宅東地区2	2,000	4,000
	6西B	一般住宅西地区B2	13,800	11,500
	10	セブンヘイツ	20,500	22,000
	12	第一ヘイツ	13,500	14,000
	13	プライムヘイツ	16,000	24,500
新船場南	23	一般住宅船場西3-13		500
	15	セントラルヘイツ	16,500	19,500
	16	パークヘイツ	18,000	11,500
	17	ビユーヘイツ	5,000	5,000
	18	一般住宅船場西3-7	1,000	500
	19	千里ドオル	13,000	13,000
	24	一般住宅船場西3-9		500
	27	ジャークレフ千里中央	500	
個人会員			1,500	2,500
合 計			305,300	291,500

(6) 防災ステーションにて 班活動



4. 会則・細則上の約束事と現実の壁

(1) 会則に見る役員の選任

第11条（選任）

役員は、推薦もしくは立候補に基づき会員の中から総会において選出する。役員の定員は12～17名とする。

(2) 理事は、各班の規定によって選出される。理事の定員は細則で定める。

(3) 理事は、理事会に届け出て承認を受けるものとする。

(4) 理事は、役員を兼務することができる。

(5) 監査役は、他の役員を兼務することができない。

(6) 役員会は、必要に応じて顧問を置くことができる。顧問は、必要に応じて役員会に出席して助言を行う。

(5) 役員会は、必要に応じて事務局を置き、役員会の庶務を担わせることができる。但し、事務局は役員会の議決権を有しない。

**〔課題〕 現在、自発的に役員として立候補する会員はほぼ皆無の状態。
むしろ役員の就任を避けるため自治会からの退会を申し出る傾向が強い。**

(2) 会則に見る役員の任期

第12条（任期）

役員の任期は、1期2年とする。但し、再選を妨げないが最長任期は2期とする。

(2) 任期末満で辞任する役員は、辞任理由を付した辞表を会長宛に提出するものとし、役員会で妥当と判断された場合、理事会の承認を得て認めることとする。

(3) 役員に欠員が生じた場合は、役員会がこれを補充し、総会の承認を得ることなく、理事会の承認をもって認めることとする。ただし、その任期は前任者の残任期間とする。

(4) 役員が辞任した場合でも、後任者が就任する迄は、原則としてその職務を遂行するものとする。

(5) 理事の任期は各班の規定に従うものとする。

(6) 役員の任期は事業年度とする。

(7) 顧問の任期は就任後1年とする。但し、再任を妨げないが最長任期は2年とする。事務局の任期も顧問に準ずるものとする。

【課題】 役員の任期は1期2年と会則で定められているにもかかわらず、自己都合あるいは出身班のルールに従って1年で辞任されるケースが少なくない。

(3) 細則に見るブロックの編成と役員の選出

第3条（ブロックの編成と役員の選出）

会則第7条（構成）で定めるブロックと会則第9条（種別）に定める各ブロックの役員候補者の選出は、原則として下記の通りとする。

南山東ブロック＝1, 3-1, 3-2, 21, 28-1, 28-2, 28-3, 28-4 班：3名

新船場西ブロック＝4, 5, 6 西 A, 7, 8, 9, 26 班：3名

杉谷ブロック＝6 東, 6 西 B, 10, 12, 13, 23 班：3名

新船場南ブロック＝15, 16, 17, 18, 19, 24, 27 班：3名

計 12名

ブロック編成とブロック毎の定員の変動は、必要に応じて役員会で協議し、理事会承認の上これを認めるものとする。但し、役員候補者の総数は、最低12名を確保しなければならない。

**〔課題〕 各ブロックから3名を選出し、計12名の役員を確保することになっているが
現実には条文通りにスムーズに選出されることはない。**

5. 自治会活動に伴う個人負担を軽減するために

(1) 各役員が自治会活動に従事する上で必要不可欠なスマートフォン(携帯電話)やパソコンの経費、また時折移動時に使用する車のガソリン代等は、全て個人の負担となっている。

⇒ 令和2年度の支出予算の中に「役員活動費」という名目で2万円を計上し、夏まつりの開催に伴い各事業所からの寄付、賛助広告等の依頼活動に従事する各役員に対してその手数料を支払うことを可能とした。(総会決議事項)

しかし新型コロナウイルスの影響で夏まつりの開催が中止され、プログラムを制作する機会も失われてしまったため、現在は広報紙において賛助広告欄を設け、活動中。

(2) 1期2年あるいは2期4年の役員活動が修了した段階で、慰労金あるいは旅行券等を支給できるような自治会であって欲しいと考えている。

6. 当面する地域の課題をめぐって

市長タウンミーティング開催 時の概要

日時 令和3年（2021年）6月14日（月）13時45分～15時30分

2. 場 所：箕面市役所 市長応接室

3. 出席者：箕面市 上島市長

市民部市民サービス政策室 大西室長、
奈良自治会係長、
清水グループ長

みどりまちづくり部 本田副部長

子ども未来創造局 教育政策室 乾室長

船場西地区連合自治会 村井会長、六田副会長

4. ミーティングのテーマ：

- (1) 自治会館（スペース）の取得とその活用について
- (2) 船場小中学校の新設に当たって
- (3) 自治会と他団体との連携のあり方について

以上の3テーマに関し、順次上島市長にご説明し、市当局のご支援をお願いした。



船場地区への期待

船場地区に大阪大学箕面キャンパスが誕生し、引き続き関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センターが整備・充実されることによって、当地区は研究学園都市的な性格を帯び、人々の交流も進化・拡大することが予想されます。このような新しい都市の発展を原動力として開花する文化や芸術に期待しているところです。

自治会の歩み

船場西地区連合自治会の歩み(その1)

- ・昭和55年(1980年) 4月19日 船場西地区自治会創立総会開催
箕面市船場西地区自治会会則(全19条)実施
- ・昭和55年(1980年) 9月 5日 杉谷公園整備計画(約1800坪、グランド計画55m四方)
具体化へ(昭和56年3月末日完成)
- ・昭和56年(1981年) 1月 自治会費(1世帯当たり月100円)の徴収開始
- ・昭和56年(1981年) 5月10日 第1回大運動会開催(杉谷公園グランドにて)
- ・昭和56年(1981年) 8月 2日 第1回盆踊り大会開催
- ・昭和56年(1981年) 2つの子ども会(船場フレンズⅠ、船場フレンズⅡ)発足、
翌57年に3つ目の子ども会(船場おおぞら)発足
- ・昭和57年(1982年)11月 3日 第1回バス見学会実施
- ・昭和58年(1983年) 1月 3日 杉谷公園内に土俵が完成、同年5月22日に相撲大会を開催

船場西地区連合自治会の歩み(その2)

- ・昭和60年(1985年) 2月 8日 コミュニティセンター建設準備委員会
結成
- ・昭和61年(1986年) 自治会費、1世帯当たり月200円に改定
- ・昭和61年(1986年) 4月 コミュニティセンター「くすの木の家」竣
工
- ・昭和61年(1986年) 5月 杉谷公園に掲示板が設置
- ・平成元年(1989年) 1月15日 第1回どんどこ焼き開催
- ・平成元年(1989年) 12月25日 第1回歳末夜警巡回(～12月30日)
- ・平成 2年(1990年) 8月15日 創立10周年記念式典(盆踊り終日開
催)
- ・平成 2年(1990年) 10月 賛助会員制度を導入
- ・平成 7年(1995年) 5月 7日 創立15周年記念式典
(式典、パレード、吹奏楽、祝宴)



船場西地区連合自治会の歩み(その3)

- ・平成11年(1999年) 船場西防災会発足
- ・平成12年(2000年) 8月 第20回盆踊り大会
- ・平成16年(2004年) 11月 第20回バス旅行
- ・平成17年(2005年) 6月 7日 第1回使用済み天ぷら油回収(杉谷公園にて)
参加者31名、回収量49.6ℓ
NPO法人北大阪エコネットのご指導・ご協力をいただく
- ・平成17年(2005年) 7月 1日 広報紙「船場西地区連合自治会だより」創刊
- ・平成20年(2008年) 3月 第1回桜祭り開催
- ・平成20年(2008年) 7、8月 夏休みラジオ体操開始(杉谷公園グラウンドにて)
- ・平成22年(2010年) 8月 第30回盆踊り大会
- ・平成23年(2011年) 新船場西公園、新船場南公園にそれぞれ掲示板が設置

船場西地区連合自治会の歩み(その4)

- ・平成27年(2015年) 1月21日 第30回使用済み天ぷら油回収(杉谷公園にて)
参加者 54名、回収量 109.40ℓ
- ・令和 2年(2020年) 4月26日 第40期通常総会は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、
書面議決方式を導入
(今年度開催を予定していたラジオ体操、夏まつり、
親睦バス旅行は全て中止)
- ・令和 3年(2021年) 3月25日 船場西地区連合自治会だより「自治会創立40周年記念号」発行

「箕面市の自治会を考える会」
に参加し、現在取り組んでいる
ことについて

箕面市半町南天荘自治会の土岐博会長(阪大名誉教授)より箕面市社会福祉協議会を通して自治会に関する問題提起がなされ、それに呼応した自治会関係者が令和元年11月9日(土)に箕面市立総合保健福祉センター分館2階講堂に参集し、第1回目の会合が開催された。

第2回目は令和2年2月1日(土)に、第3回目は同年8月1日(土)に行われ、これら3回に亘る会合において提起された内容を箕面市長宛ての意見書としてとりまとめ、10月15日(木)に箕面市市民部の市民サービス政策室長および自治会係長に提出し、ご説明を終えることができた。

その後、同意見書に対し令和2年11月11日付けで箕面市長から回答がなされ、12月1日には改めて考える会の有志6名が上島市長をお訪ねし、懇談会を持ったところである。

[自治会を考える会の議題]

1. 現在の自治会のあり方と問題点
2. 自治会の果たす役割
3. 日常の活動の問題点
4. 問題点の改善提案
5. 全員参加の自治会の創生

おわり

ご清聴有難うございました。

コメント

- 今回の取り組みは勿論「住民理解」が求められるが、そもそも「住民とはなにか」という住民についての再定義が必要のように思う。「自治会」という組織自体はその歴史的使命を終え、新たな組織への転換を、時代は要請しているように思う。「場所」のことが話題になったが、アメリカ西海岸から始まったか（そのための強固な警備かつ巨大なビルに入ったことがあります）、今は日本でも動き始めているコワーキングスペース（コワーキングオフィス）的な発想から、自治会そのもののあり方を問うのもありか？ また「自治会」のようなパートタイム的組織とMAFGAのようなフルタイム組織が本ワークショップで同席していることにも気をつけていくべきだと考える。
- すでに根ざしていらっしゃる方々が作っておられるコミュニティの中に、「新参者」として入ってきた箕面キャンパスが、そこにどのように入っていくか、受け入れてもらうか。
- 現在でも、組合員の経営者や従業員の中には、船場西に住まれ『船場西地区連合自治会』の構成員でおられる方もいると思われ、今後もそれなりに関係は継続されると思われる。新駅前に図書館や文化芸能劇場などが出来たことにより、その施設の一番近隣の住民である『船場西地区連合自治会』と一番近隣の事業者の集団である『団地組合』がいかにこれまでとは違う形の連携、協力関係が構築できないか、他の団体も含めたこのワークショップで模索して行ければ良いと思う。
- NPOはテーマ型と捉えがちですが、まちづくりのテーマは地域性が重要な要素になり地域課題の解決に向けて自治会の役割も大きいと思います。地域を熟知している自治会と、課題のテーマで動く専門性とのコラボが生み出す市民力に期待します。
- （ワークショップの）メンバーである箕面船場まちづくり協議会は自治会活動の延長線上にあると思いますが、船場のまちづくりというテーマで協力できることは役割分担をしながら進めていくと効果的だと思います。また、地域住民として住みやすいまちのイメージを共有して一緒に楽しむ場を作っていくことは今後の船場のまちを形作る一步になると考えます。
- 地域が抱える課題解決に向けて、住民一人ひとりの参加・参画が自治会活動の基礎となるわけだが、多くの市民が自治会活動に関心を持ち、参加を促すような新たな取り組みが必要ではないか。
- 自治会は、箕面市最大のNPOであるが、全てのNPOの基礎的存在であることから、いわゆる「草刈り場」となっている。皮肉な結果であるが、NPOも行政同様縦割りの一面があることを認識し、縦ではなく横の関係（ネットワーク）を構築していく必要がある。
- やはり拠点があるのはかなり大きいと思う。どうにか拠点となる場所が見つかれば良いなと思う。

コメント

- 生活や暮らしに関わる何かを考えたり、何かを実行しようというときに「自治会」という単位は外せないと考えました。
- 自治会をはじめ、防犯や民生、子育てなど、箕面市の各地域では十分に機能していると感じますし、なにより実際に現在活動されている皆さんが本当に力を尽くしていると感じます。業務や人員が重複して負担がかかっている印象もありますので、うまく役割分担してそれぞれの業務が誰でもできるように箕面市からのサポートがあれば良いと思います。
- 拠点がない、という問題の解決と、地縁組織のコアメンバーは有償化していくことが必要だと思われる。そのためには持続可能な財源づくりが必要で、「船場マルシェ」などを定期的開催しながら出店料をもらったり、空きスペースを提供してもらい、そこを場所貸しできれば徐々に体力がついていくのではないかと。
- 運営面での連携
箕面船場まちづくり協議会の運営にも今まで以上に自治会の方に参加いただき、自治会と協議会が一体感のある活動や情報発信ができる体制づくりができるようにする。住民からわかりやすい協議会活動の推進を目指す。
- 文化芸能国際交流の活動について
船場エリアにできた大阪大学、従来からある船場繊維卸商団地協同組合とともに連合自治会と一緒に文化や芸術、国際交流の取り組みができればと思う。特に子ども達や若い世代の方々の参加は自治会と連携しないと実現しない。
- 大型の自治会であり、まちづくり活動や、文化、芸術、国際交流などの情報を広く会員に提供して、知見があったり、興味を持つ人材の発掘を行い、各組織を紹介する。
- 可能かどうかはわかりませんが、ずっと続けてこられた活動を一から見直してみて、負担になっていると思われるものを思い切って一旦取りやめてみるというのも一つの策かもしれません。その上で様々な世代の方にこんなことをやってみたいというアイデアを募ってみる等々現在の事情に沿った新しい活動を盛り込むなど
- ボランティアで社会貢献してもよいという方の数は自治会のみならず減ってきている現状があると思われ、文化活動においても然りです。社会全体の構造・ありようがそのような結果を作り出しているのでしょう。悩みや苦労を共有して一緒に今後の新しい船場地区の活性化に繋がっていかれたらと思っております。